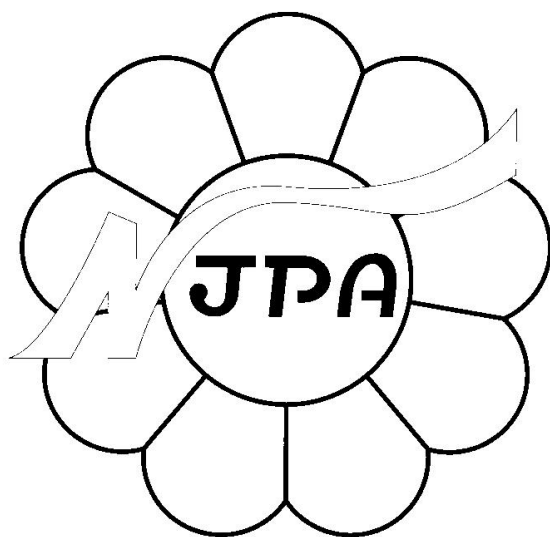


第63回 四国中学校総合体育大会 大会要項(案)



令和7年8月1日(金)～4日(月)・6日(水)～7日(木)

主 催 四国中学校体育連盟・香川県教育委員会・徳島県教育委員会
高知県教育委員会・愛媛県教育委員会・高松市教育委員会
丸亀市教育委員会・徳島市教育委員会・鳴門市教育委員会
高知市教育委員会・松山市教育委員会

後 援 香川県中学校長会・徳島県中学校長会・高知県中学校長会
愛媛県小中学校長会・当該競技四国統括団体・当該競技開催県新聞社
当該競技開催県放送局

主 管 香川県中学校体育連盟・徳島県中学校体育連盟
高知県中学校体育連盟・愛媛県中学校体育連盟
香川県開催競技団体・徳島県開催競技団体
高知県開催競技団体・愛媛県開催競技団体

第63回 四国中学校総合体育大会役員

大会名誉会長 淀谷圭三郎

大会名誉副会長 中川 斉史 今城 純子 高岡 哲也

大会会長 岩佐 孝

大会副会長 澤口 博之 武田 和久 篠原 希好

顧問 小柳 和代 末澤 康彦 松本 賢治 阿部 孝弘 谷川 健二
永野 隆史 前田 昌一 高田 孝行 國方 正一 山崎 貴士
近藤 博隆 西原 明 海老名 正規 高橋 励 渡部 真一

参与 北岡 隆 笠谷 祐史 須内 康雄 客野 英司 仁谷 美樹
横尾 昌彦 池下 一颯 濱井 康紀 大栗 一敏 沖 建治
田中 貴之 兼松 佳史 土居 直也 永原 潤一 梶原 将一
大崎 大 田村 誠 宇野 嘉則 作道 勉 梶谷 宗範
河田 哲也 岩井 俊明 三並 亜希 梶原 真 井上 健
田邊 裕貴 中村 尚志
各県競技団体会長

大会委員長 小前 宏彰

大会副委員長 敷田浩一郎 伊藤 徳章 池内 裕紀

委員 小野 隆伸 齊藤 功 稻澤 健一 太田 浩嗣 香西 孝行
田ノ上 将志 造田 考一郎 高橋 由佳 三好 直美 高橋 正
蓮井 優 高田 英治 安部 大二郎 長野 秀紀 西山 和輝
前野 勝彦 安藤 隆 白川 悟 桃本 大樹 丸岡 弘典
阿部 剛士 中根 貴之 松田 堯人 田穂 裕輝 乾 寛子
城所 克弥 岡崎 勝 芝本 和史 吉野 伸俊 大岩 誠
高木 康二 松本 真治 本田 隆史 井藤 久也 石村 侑大
竹村 和洋 刈谷 親恭 稻田 圭哉 田中 智博 西村 誠人
西村 伸仁 吉川 智佳 堀内 健策 坂下 夢之 宇賀 友哉
永田 智弥 小松 亮太 田村 欣久 篠崎 莊 吉田 道彦
小松 康孝 八十島 洋平 天白 真史 神野 諒 西尾 亮二
堀内 佐波 富岡 隼人 岡本 慎次 木下 恵理 宮本 大輔
金子 真也 大西 雅俊 菊池 蔵人 中野 稚菜 井川 徳重
小笠原 直輝 井上 省吾 八塚 光 増田 一仁 谷口 公庸
中南 篤志 八木 保臣 原 誠 村上 二郎 大荒 恵太
大西 賢志 元木 宏治 上塚 牧雄 中 由紀子 馬詰 敦
西尾 朋教 岡部 洋明 富田 武志 和田 泰紀 近藤 俊一郎
宮川 大二朗 仙波 俊太

第63回 四国中学校総合体育大会役員

大会名誉会長		大会委員長	
香川県教育委員会教育長	淀谷圭三郎	香川県中体連ソフトボール専門委員	安部大二郎
大会名誉副会長		香川県中体連柔道専門委員	長野 秀紀
徳島県教育委員会教育長	中川 斉史	香川県中体連剣道専門委員	西山 和輝
高知県教育委員会教育長	今城 純子	香川県中体連相撲専門委員	前野 勝彦
愛媛県教育委員会教育長	高岡 哲也	香川県中体連テニス専門委員	安藤 隆
大会会長		徳島県中体連陸上競技専門委員	白川 悟
香川県中学校体育連盟会長	岩佐 孝	徳島県中体連水泳競技専門委員	桃本 大樹
大会副会長		徳島県中体連バスケ専門委員	丸岡 弘典
徳島県中学校体育連盟会長	澤口 博之	徳島県中体連サッカー専門委員	阿部 剛士
高知県中学校体育連盟会長	武田 和久	徳島県中体連ハンドボール専門委員	中根 貴之
愛媛県中学校体育連盟会長	篠原 希好	徳島県中体連軟式野球専門委員	松田 堯人
顧問		徳島県中体連体操競技専門委員	田穂 裕輝
高松市教育委員会教育長	小柳 和代	徳島県中体連新体操専門委員	乾 寛子
丸亀市教育委員会教育長	末澤 康彦	徳島県中体連バレーボール専門委員	城所 克弥
徳島市教育委員会教育長	松本 賢治	徳島県中体連ソフトテニス専門委員	岡崎 勝
鳴門市教育委員会教育長	阿部 孝弘	徳島県中体連卓球専門委員	芝本 和史
板野町教育委員会教育長	谷川 健二	徳島県中体連バドミントン専門委員	吉野 伸俊
高知市教育委員会教育長	永野 隆史	徳島県中体連ソフトボール専門委員	大岩 誠
松山市教育委員会教育長	前田 昌一	徳島県中体連柔道専門委員	高木 康二
香川県教育委員会保健体育課長	高田 孝行	徳島県中体連剣道専門委員	松本 真治
徳島県教育委員会体育健康安全課長	國方 正一	徳島県中体連相撲専門委員	本田 隆史
高知県教育委員会保健体育課長	山崎 貴士	徳島県中体連テニス専門委員	井藤 久也
愛媛県教育委員会保健体育課長	近藤 博隆	高知県中体連陸上競技専門委員	石村 侑大
香川県教育委員会義務教育課長	西原 明	高知県中体連水泳競技専門委員	竹村 和洋
徳島県教育委員会教育次長	海老名 正規	高知県中体連バスケ専門委員	刈谷 親恭
高知県教育委員会小中学校課長	高橋 励	高知県中体連サッカー専門委員	稲田 圭哉
愛媛県教育委員会義務教育課長	渡部 真一	高知県中体連ハンドボール専門委員	田中 智博
参 与		高知県中体連軟式野球専門委員	西村 誠人
香川県中学校校長会長	北岡 隆	高知県中体連体操競技専門委員	西村 伸仁
徳島中学校校長会長	笠谷 祐史	高知県中体連新体操専門委員	吉川 智佳
高知中学校校長会長	須内 康雄	高知県中体連バレーボール専門委員	堀内 健策
愛媛県小中学校校長会会長	客野 英司	高知県中体連ソフトテニス専門委員	坂下 夢之
香川県中学校体育連盟副会長	北岡 隆	高知県中体連卓球専門委員	宇賀 友哉
香川県中学校体育連盟副会長	仁谷 美樹	高知県中体連バドミントン専門委員	永田 智弥
香川県中学校体育連盟副会長	横尾 昌彦	高知県中体連ソフトボール専門委員	小松 亮太
香川県中学校体育連盟副会長	池下 一顯	高知県中体連柔道専門委員	田村 欣久
香川県中学校体育連盟副会長	濱井 康紀	高知県中体連剣道専門委員	篠崎 莊
徳島県中学校体育連盟副会長	大栗 一敏	高知県中体連相撲専門委員	吉田 道彦
徳島県中学校体育連盟副会長	沖 建治	高知県中体連テニス専門委員	小松 康孝
徳島県中学校体育連盟副会長	田中 貴之	愛媛県中体連陸上競技専門委員	八十島洋平
徳島県中学校体育連盟副会長	兼松 佳史	愛媛県中体連水泳競技専門委員	天白 真史
高知県中学校体育連盟副会長	土居 直也	愛媛県中体連バスケ専門委員	神野 諒
高知県中学校体育連盟副会長	永原 潤一	愛媛県中体連サッカー専門委員	西尾 亮二
高知県中学校体育連盟副会長	梶原 将一	愛媛県中体連ハンドボール専門委員	堀内 佐波
高知県中学校体育連盟副会長	大崎 大	愛媛県中体連軟式野球専門委員	富岡 隼人
高知県中学校体育連盟副会長	田村 誠	愛媛県中体連体操競技専門委員	岡本 慎次
愛媛県中学校体育連盟副会長	宇野 嘉則	愛媛県中体連新体操専門委員	木下 恵理
愛媛県中学校体育連盟副会長	作道 勉	愛媛県中体連バレーボール専門委員	宮本 大輔
愛媛県中学校体育連盟副会長	梶谷 宗範	愛媛県中体連ソフトテニス専門委員	金子 真也
高松市教育委員会保健体育課長	河田 哲也	愛媛県中体連卓球専門委員	大西 雅俊
丸亀市教育委員会学校教育課長	岩井 俊明	愛媛県中体連バドミントン専門委員	菊池 蔵人
徳島市教育委員会学校教育課長	三並 亜希	愛媛県中体連ソフトボール専門委員	中野 稚菜
鳴門市教育委員会学校教育課長	梶原 真	愛媛県中体連柔道専門委員	井川 徳重
板野町教育委員会教育次長	井上 健	愛媛県中体連剣道専門委員	小笠原直輝
高知市教育委員会学校教育課長	田邊 裕貴	愛媛県中体連相撲専門委員	井上 省吾
松山市教育委員会保健体育課長	中村 尚志	愛媛県中体連テニス専門委員	八塚 光
各県競技団体会長		香川県教育委員会保健体育課指導主事	増田 一仁
大会委員 長		香川県教育委員会保健体育課指導主事	谷口 公庸
香川県中学校体育連盟理事長	小前 宏彰	徳島県教育委員会体育健康安全課班長	中南 篤志
大会副委員 長		徳島県教育委員会体育健康安全課指導主事	八木 保臣
徳島県中学校体育連盟理事長	敷田浩一郎	高知県教育委員会保健体育課指導主事	原 誠
高知県中学校体育連盟理事長	伊藤 徳章	愛媛県教育委員会保健体育課指導主事	村上 二郎
愛媛県中学校体育連盟理事長	池内 裕紀	高松市教育委員会保健体育課指導主事	大荒 恵太
大会委員		丸亀市教育委員会学校教育課指導主事	大西 賢志
香川県中体連陸上競技専門委員	小野 隆伸	徳島市教育委員会体育保健給食課担当課長補佐	元木 宏治
香川県中体連水泳競技専門委員	齊藤 功	鳴門市教育委員会学校教育課主査指導主事	上塚 牧雄
香川県中体連バスケ専門委員	稲澤 健一	板野町教育委員会主幹	中 由紀子
香川県中体連サッカー専門委員	太田 浩嗣	高知市教育委員会学校教育課担当指導主事	馬詰 敦
香川県中体連ハンドボール専門委員	香西 孝行	松山市教育委員会保健体育課担当指導主事	西尾 朋教
香川県中体連軟式野球専門委員	田ノ上 将志	香川県中学校体育連盟副理事長	岡部 洋明
香川県中体連体操競技専門委員	造田 考一郎	香川県中学校体育連盟事務局長	富田 武志
香川県中体連新体操専門委員	高橋 由佳	香川県中学校体育連盟事務局長次長	和田 泰紀
香川県中体連バレーボール専門委員	三好 直美	徳島県中学校体育連盟事務局長	近藤俊一郎
香川県中体連ソフトテニス専門委員	高橋 正	高知県中学校体育連盟副理事長	宮川大二朗
香川県中体連卓球専門委員	蓮井 優	愛媛県中学校体育連盟事務局長	仙波 俊太
香川県中体連バドミントン専門委員	高田 英治		

第63回 四国中学校総合体育大会

一 般 要 項

- 1 期 日 令和7年8月1日（金）～4日（月）・6日（水）～7日（木）
 2 会 場 四国4県各競技会場（下記一覧表参照）
 3 実 施 競 技 17競技
 4 参 加 者 各県大会を経て選抜された代表チーム及び個人
 ※同一年度内の参加は、全競技を通じて一人一回とする

5 競技別会場

競 技 名	性別	期日	会 場	開場時刻	競技開始	専門部長会	監督会議
陸 上 競 技	男女	2・3	愛 ニンジニアスタジアム	2日 8:30 3日 7:30	2日 13:00 3日 9:30	2日 10:00	
水 泳 競 技	男女	3	香 香川県立総合水泳プール	3日 7:30	3日 9:20	2日 13:00	
バスケットボール	男女	2・3	香 丸亀市民体育館	2日 8:30 3日 8:30	2日 12:00 3日 9:30	2日 10:50 3日 12:00	2日 11:00
サ ッ カ ー		1・2・3	徳 徳島市球技場、 徳島スポーツヴィレッジ 鳴門・大塚スポーツパーク 球技場	1日 8:00 2日 8:00 3日 8:00	1日 11:00 2日 10:00 3日 10:00	1日 9:00	1日 9:00
ハ ン ド ボ ール	男女	2・3	高 高知県立春野総合運動公園 園体育館	2日 8:00 3日 8:00	2日 11:30 3日 9:00	2日 9:30	2日 10:30
軟 式 野 球		1・2・3	高 高知県立春野総合運動公園 園野球場 日本トーター高知市総合 運動場日本トーター野球場	1日 11:00 2日 7:00 3日 7:00	1日 13:00 2日 9:00 3日 9:00	1日 11:00	1日 11:00
体 操 競 技	男女	1・2	愛 愛媛県総合運動公園園体育館	1日 8:00 2日 8:00	2日 11:00	1日 12:00	1日 15:30
新 体 操	女	4	愛 愛媛県総合運動公園園体育館	4日 8:30	4日 10:50	3日 15:10	3日 15:40
バ レ ー ボ ール	男女	2・3	高 高知県立県民体育館	2日 8:20 3日 8:30	2日 12:00 3日 10:00	2日 10:00	2日 8:30
ソ フ ト テ ニ ス	男女	2・3	高 I NOUE・東部スポーツパ ークテニスコート	2日 8:00 3日 8:00	2日 11:30 3日 9:30	2日 9:30	2日 10:30 3日 8:30
卓 球	男女	6・7	香 丸亀市民体育館	6日 8:00 7日 8:00	6日 11:30 7日 9:00	6日 9:30	
バ ド ミ ン ト ン	男女	2・3	愛 松山市総合コミュニティ ーセンター体育館	2日 8:00 3日 8:00	2日 12:00 3日 9:30	2日 10:00	2日 11:00
ソ フ ト ボ ール	男女	2・3	徳 吉野川北岸グラウンド	2日 7:00 3日 7:00	2日 11:00 3日 9:00	2日 9:30	2日 10:00
柔 道	男女	2・3	高 高知県立武道館	2日 8:00 3日 7:30	2日 12:00 3日 9:30	2日 9:20 3日 7:50	2日 10:50 3日 8:50
剣 道	男女	3	徳 鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール	3日 8:00	3日 9:30	3日 11:00	3日 8:45
相 撲	男	7	香 香川県総合運動公園相撲場	7日 8:00	7日 10:00	6日 15:00	7日 9:00
テ ニ ス	男女	2・3	徳 大神子病院しあわせの里 テニスセンター	2日 8:30 3日 8:30	2日 13:00 3日 10:00	2日 11:30	2日 12:00

6 練習会場，時間（原則として競技会場をあてる。また，近い県から順番に時間帯を割振る。）

県名	練習日	競 技 名	県 名	練 習 時 間 帯
香 川 県	2日	水 泳 競 技	香川・徳島・高知・愛媛	11:00 ～ 15:00
	2日	バスケットボール	香川	9:00 ～ 9:30
			徳島	9:30 ～ 10:00
			高知	10:00 ～ 10:30
			愛媛	10:30 ～ 11:00
	6日	卓 球	香川・徳島・高知・愛媛	8:00 ～ 10:50
	7日			8:00 ～ 8:50
徳 島 県	6日	相 撲	香川・徳島・高知・愛媛	11:00 ～ 17:00
	1日	サ ッ カ ー	香川・徳島・高知・愛媛	8:30 ～ 9:30
	2日	ソ フ ト ボ ール	徳島・香川	8:30 ～ 9:30
			高知・愛媛	9:30 ～ 10:30
	3日	剣 道	香川・徳島・高知・愛媛	14:00 ～ 17:00
	2日	テ ニ ス	香川・徳島・高知・愛媛	9:00 ～ 12:00
	3日			9:00 ～ 9:50
高 知 県	2日	ハ ン ド ボ ール	高知	8:30 ～ 9:00
			香川	9:00 ～ 9:30
			愛媛	9:30 ～ 10:00
			徳島	10:00 ～ 10:30
	1日	軟 式 野 球	香川	なし
			徳島	なし
			高知	なし
			愛媛	なし
	2日	バ レ ー ボ ール	香川・徳島・高知・愛媛	9:00 ～ 9:30
				9:30 ～ 10:00
				10:00 ～ 10:30
				10:30 ～ 11:00
	2日	ソ フ ト テ ニ ス	香川・徳島・高知・愛媛	団体戦出場者 9:00 ～ 10:30 個人戦出場者 12:30 ～ 16:00
	3日			個人戦出場者 8:30 ～ 8:50
	2日	柔 道	香川・徳島・高知・愛媛	8:10 ～ 11:10
	3日			7:40 ～ 9:10
愛 媛 県	2日	陸 上 競 技	香川・徳島・高知・愛媛	補助競技場 8:30 ～ 17:00
	3日			補助競技場 7:30 ～ 17:00
	1日	体 操	香川・徳島・高知・愛媛	13:00 ～ 15:00
	2日			9:00 ～ 11:00
	3日	新 体 操	愛媛	11:00 ～ 12:00
			香川	12:00 ～ 13:00
			高知	13:00 ～ 14:00
			徳島	14:00 ～ 15:00
	2日	バ ド ミ ン ト ン	香川・徳島・高知・愛媛	9:00 ～ 11:00
	3日			8:30 ～ 9:20

7	専門部長会・監督会	原則として、競技開始前に各会場で行う。	
8	表彰	団体1～3位（チームに賞状）※1位には優勝杯（持ち回り）、個人に賞状 個人1～3位（個人に賞状）	
9	参加賞	各県の選手及びマネージャーに配布する。	
10	申込締切	令和7年7月28日（月） 10時30分 申込は各県事務局を経て、大会事務局で集約する。その後、各県開催競技に分け、各県事務局が持ち帰る。	
11	大会事務局	香川県高松市上福岡町 714-1 香川県中学校体育連盟	高松市立玉藻中学校内 TEL 087-837-9127 FAX 087-837-9126
12	競技別事務局	徳島県徳島市中前川町 3-16 徳島県中学校体育連盟	徳島市徳島中学校内 TEL 088-653-8338 FAX 088-623-3176
		高知県高知市八反町 1-8-14 高知県中学校体育連盟	高知市立城北中学校内 TEL 088-824-5968 FAX 088-824-5968
		愛媛県松山市市坪南 1-1-20 愛媛県中学校体育連盟	松山市立椿中学校内 TEL 089-958-8499 FAX 089-958-9258

競 技 要 項

【 総 則 】

- 1 競技は本年度各競技協会・連盟及び（公財）日本中学校体育連盟の各競技部が定める規則に準じて行う。
- 2 合同チームの編成については、四国中学校体育連盟「複数校合同チーム編成規程」に則る。
また、拠点校部活動については、2 四国中学校体育連盟「拠点校部活動参加規程」に則る。
- 3 引率者及び監督
 - (1) 引率者及び監督は、出場チームの代表者・校長・教員・部活動指導員とする。
 - (2) 大会では、外部指導者（コーチ）をおくことができる。外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とし、必ず外部指導者（コーチ）証【各県で使用する物】を身に付けること。また、次の二点を遵守すること。ただし、地域クラブ活動においては、該当しない。
 - ① 当該校以外の中学校教職員は、外部指導者（コーチ）になれない。
 - ② 同一人が複数校の外部指導者（コーチ）になれない。【水泳競技・体操競技・新体操・卓球を除く。】
 - (3) 四国総体の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、校長が適切であると承認した外部指導者（コーチ）に引率及び監督の資格を認める。
- 4 個人情報の取扱い（利用目的）

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、四国中学校体育連盟個人情報保護方針・規程に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手は、これに同意する。
- 5 組合せ
 - (1) 団体戦は、県代表1チームについてはフリー抽選。県代表2チーム以上の競技は、左右のゾーンに振り分ける。また、各県の1位が1回戦で対戦しないように配慮する。
 - (2) 個人戦は、各県の個人順位または、強い順によりゾーン配分して組み合わせる。
 - (3) 申込書には必ず順位を明記すること。
- 6 参加料
参加選手一人につき2,000円とする。（マネージャーを除く。）
- 7 備 考
 - (1) 各競技本部は、環境状況（気温、湿度、風速、輻射熱等）を十分に把握し、適宜水分補給、休憩等をとるようにすること。
【環境省熱中症予防情報サイト】 URL <http://www.wbgt.env.go.jp/>
 - (2) 各競技本部は、自然災害等による事故防止のため、常に最新の気象情報の収集に努め、活動途中の降雨及び落雷等の気象の変化に対しては、選手等の健康及び安全面を最優先し、各県大会本部と協議の上、適切な措置を講じること。
高知地方气象台 : TEL 088-822-8883
URL <https://www.jma-net.go.jp/kochi/>
松山地方气象台 : TEL 089-941-6293
URL <https://www.jma-net.go.jp/matsuyama/>
高松地方气象台 : TEL 087-867-6112
URL <https://www.jma-net.go.jp/takamatsu/>
徳島地方气象台 : TEL 088-656-9549
URL <https://www.jma-net.go.jp/tokushima/>
 - (3) 屋外競技については、落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中止し、危険性がなくなると判断されるまで安全な場所に避難するなど、選手の安全確保を最優先事項として常に留意すること。

【陸 上 競 技】

1 参加規程

(1) 種 目

男 子 (17 種目) 学年種目：1 年 100m・2 年 100m・3 年 100m

1 年 1500m・2 年 1500m・3 年 1500m

共通種目：200m・400m・800m・110mH・4×100m リレー

走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・四種競技

女 子 (15 種目) 学年種目：1 年 100m・2 年 100m・3 年 100m

1 年 1500m・2 年 1500m・3 年 1500m

共通種目：200m・800m・100mH・4×100m リレー

走高跳・棒高跳・走幅跳・砲丸投・四種競技

(2) 資 格

各県 1 種目 4 名とする。ただし、リレーは各県 2 チームとする。

(3) 制 限

1 人の出場は 2 種目以内とする。ただし、リレーは除く。

2 競技規則

(1) 競走競技の予選通過は、各組 3 着＋2 とする。

ただし、1500m は、予選を行わず 16 名で決勝を行う。

(2) 得点は、1 位 8 点・…・8 位 1 点とし、学校対抗とする。

(3) ナンバーカードは、各県に配番された番号を明記し、各県で準備する。

香川 (オリーブ) 1～150 徳島 (イエロー) 201～350

高知 (ピ ン ク) 401～550 愛媛 (オレンジ) 601～750



↑ ※ ナンバーカードの割り振りは男子から行い、男女込みの通し番号とする。

16 ※ ナンバーカード下部に県名を入れる。

cm ※ ナンバーカードは、胸と背に確実に付けること。ただし、跳躍種目 については、胸か背のいずれかでよい。

← 24cm →

(4) スパイクのピンは、全天候用の 9 mm 以下とする。(走高跳は 12 mm 以下)

(5) 招集所において、競技で使用するシューズの靴底の厚さを計測する。世界陸上競技連盟 (WA) 規則第 143 条 (テクニカルルール第 5 条=TR5) を確認し、規定内のシューズを履いて出場すること。規定外のシューズを履いて出場することはできない。

(6) 申込は各県委員長がとりまとめ、申込一覧表 (様式 A) と学校 (チーム) 別申込表 (様式 B) 及び県中学 (最高) 記録一覧表 (様式 C) をそろえて、開催県委員長に申し込むこと。

3 競技方法

学校 (チーム) 対抗及び種目別選手権

4 競技日程

〈第1日目〉

ト ラ ッ ク 競 技				
N o	性別	種 目		時 刻
1	女	8 0 0 m	予選	13 : 00
2	男	8 0 0 m	予選	13 : 20
3	女	四種1 0 0 mH	2組	13 : 50
4	男	四種1 1 0 mH	2組	14 : 10
5	女	2 0 0 m	予選	14 : 30
6	男	2 0 0 m	予選	14 : 45
7	女	1年1 5 0 0 m	決勝	15 : 35
8	男	1年1 5 0 0 m	決勝	15 : 50
9	女	2 0 0 m	決勝	16 : 05
10	男	2 0 0 m	決勝	16 : 15
11	女	8 0 0 m	決勝	16 : 25
12	男	8 0 0 m	決勝	16 : 35

フ ィ ー ル ド 競 技				
N o	性別	種 目		時 刻
1	男	走高跳	決勝	13 : 00
2	女	棒高跳	決勝	13 : 00
3	女	走幅跳	決勝	13 : 00
3	女	砲丸投	決勝	13 : 00
4	女	四種走高跳		15 : 00
5	男	走幅跳	決勝	15 : 00
6	男	四種砲丸投	決勝	15 : 30

開 会 式	実施しない
-------	-------

〈第2日目〉

ト ラ ッ ク 競 技				
N o	性別	種 目		時 刻
1	女	2年1 5 0 0 m	決勝	9 : 30
2	女	3年1 5 0 0 m	決勝	9 : 40
3	男	2年1 5 0 0 m	決勝	9 : 50
4	男	3年1 5 0 0 m	決勝	10 : 00
5	女	1 0 0 mH	予選	10 : 15
6	男	1 1 0 mH	予選	10 : 30
7	男	4 0 0 m	予選	10 : 55
8	女	1年1 0 0 m	予選	11 : 10
9	女	2年1 0 0 m	予選	11 : 20
10	女	3年1 0 0 m	予選	11 : 30
11	男	1年1 0 0 m	予選	11 : 40
12	男	2年1 0 0 m	予選	11 : 50
13	男	3年1 0 0 m	予選	12 : 00
14	女	1 0 0 mH	決勝	12 : 15
15	男	1 1 0 mH	決勝	12 : 25
16	女	1年1 0 0 m	決勝	12 : 35
17	女	2年1 0 0 m	決勝	12 : 45
18	女	3年1 0 0 m	決勝	12 : 55
19	男	1年1 0 0 m	決勝	13 : 05
20	男	2年1 0 0 m	決勝	13 : 15
21	男	3年1 0 0 m	決勝	13 : 25
22	女	四種2 0 0 m	2組	14 : 25
23	男	四種4 0 0 m	2組	14 : 35
24	男	4 0 0 m	決勝	14 : 45
25	女	4 × 1 0 0 mR	決勝	15 : 05
26	男	4 × 1 0 0 mR	決勝	15 : 15

フ ィ ー ル ド 競 技				
N o	性別	種 目		時 刻
1	男	四種走高跳		9 : 30
2	女	四種砲丸投		9 : 30
3	男	棒高跳	決勝	10 : 00
4	女	走高跳	決勝	11 : 30
5	男	三段跳	決勝	12 : 00
6	男	砲丸投	決勝	12 : 00

開 会 式	実施しない
-------	-------

【水 泳 競 技】

1 参加規程

(1) 種 目

種 目	男 子	女 子
自 由 形	50 100 200 400 1500	50 100 200 400 800
平 泳 ぎ	100 200	100 200
バ タ フ ラ イ	100 200	100 200
背 泳 ぎ	100 200	100 200
個 人 メ ド レ ー	200 400	200 400
メドレーリレー	4×100	4×100
リ レ ー	4×100	4×100

(2) 資 格

各県1種目2名、リレーは2チームとする。

(3) 制 限

1種目2名、1人2種目以内。ただし、リレーは除く。

2 競技規則

(1) レースは、すべて決勝とする。

(2) スタートは、1回とする。

(3) 優勝団体の決定法

種目ごとに1位8点・2位7点・3位6点……………8位1点（ただし、リレー種目は、1位16点・2位14点・3位12点……………8位2点）とし、得点の順にしたがって決定する。総合得点と同じ場合は、次の順にしたがって決定する。

① リレーによる得点の多い団体

② 入賞者の多い団体（ただし、リレーは4人とする。）

③ 1位の数の多い団体

④ 2位の数の多い団体（以下、3位・4位……の順で）

3 競技方法

団体対抗及び種目別選手権

4 競技日程

開始式 9 : 00 ~

1	女子	400m	個人メドレー	決 勝	9 : 20
2	男子	400m	個人メドレー	決 勝	
3	女子	800m	自由形	決 勝	9 : 40
4	男子	1500m	自由形	決 勝	9 : 55
5	女子	50m	自由形	決 勝	10 : 20
6	男子	50m	自由形	決 勝	
7	女子	200m	自由形	決 勝	10 : 30
8	男子	200m	自由形	決 勝	
9	女子	200m	バタフライ	決 勝	10 : 45
10	男子	200m	バタフライ	決 勝	
11	女子	200m	背泳ぎ	決 勝	11 : 00
12	男子	200m	背泳ぎ	決 勝	
13	女子	200m	平泳ぎ	決 勝	11 : 15
14	男子	200m	平泳ぎ	決 勝	
15	女子	4×100m	リレー	決 勝	11 : 40
16	男子	4×100m	リレー	決 勝	

【昼 食】

17	女子	100m	バタフライ	決 勝	12 : 50
18	男子	100m	バタフライ	決 勝	
19	女子	100m	自由形	決 勝	13 : 00
20	男子	100m	自由形	決 勝	
21	女子	100m	背泳ぎ	決 勝	13 : 10
22	男子	100m	背泳ぎ	決 勝	
23	女子	100m	平泳ぎ	決 勝	13 : 20
24	男子	100m	平泳ぎ	決 勝	
25	女子	200m	個人メドレー	決 勝	13 : 30
26	男子	200m	個人メドレー	決 勝	
27	女子	400m	自由形	決 勝	13 : 45
28	男子	400m	自由形	決 勝	
29	女子	4×100m	メドレーリレー	決 勝	14 : 20
30	男子	4×100m	メドレーリレー	決 勝	

終了式 15 : 00 ~

【バスケットボール】

1 参加規程

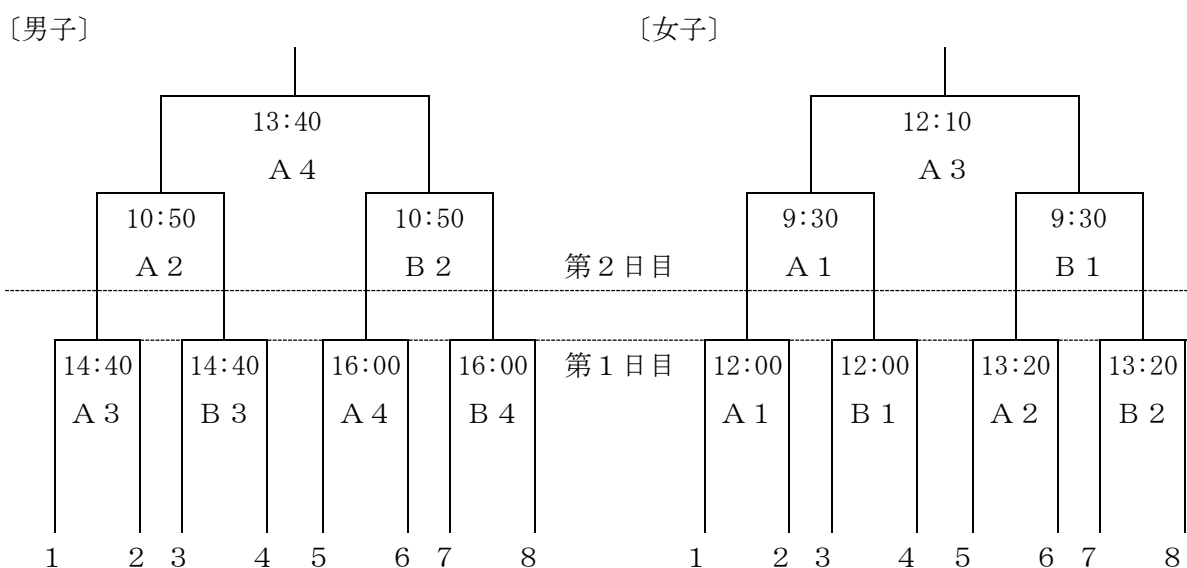
各県男女各2チームとする。

2 競技規則

- (1) (公財)日本バスケットボール協会「2025 バスケットボール競技規則」による。
- (2) ベンチは組合せ番号の小さいチームが、コートからオフィシャル席に向かって右側とする。
- (3) メンバー票の提出は必要ない。ただし、メンバーの変更がある場合は、「変更届」を監督会議で提出する。大会前日までに変更が明らかな場合は、データでブロック長までに送付すること。(スコアシート入力のため)
- (4) ユニフォームの色は、組合せ番号の小さいチームが淡色を着用する。2020年4月から施行されている(2020年11月11日更新)JBAユニフォーム規則に従い、ユニフォームの番号は「0から99・00」までのいずれかの番号のものを着用すること。
- (5) 前のゲームのハーフタイムでは、次のゲームのチームが3分前まで練習をしてもよい。
- (6) ベンチに入れる者は、登録された選手15名以内と、引率責任者1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名の合計19名以内とする。
 - ① 引率責任者は、出場校の校長・教員(非常勤講師は除く)・部活動指導員・外部指導者(「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が適切であると承認した者)とする。
 - ② コーチ・アシスタントコーチ(Aコーチ)は、校長の認めた者とする。
 - ③ マネージャーは、出場校の教員または生徒とする。
 - ④ 外国籍選手(JBA基本規定に基づく)の大会エントリーは、1チームあたり2名までとする。
- (7) 本大会は「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則って運営し、試合におけるマンツーマンディフェンス/ゾーンディフェンスの判定は、大会主催者が任命したマンツーマンコミッショナーが行うこととする。なお、最新版の推進関連規定(2025.3.13版)を適用する。

3 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。3位決定戦は行わない。
- (2) 組合せ



4 その他

開会式は行わないが、男子決勝戦の後に表彰式を行う。

【サ ッ カ ー】

1 参加規程

各県2チームとする。

(公財)日本サッカー協会の女子加盟チーム選手は、在籍中学校または、地域クラブ活動に所属する中学校の生徒であれば、移籍を行うことなく、本大会に参加することができる。

2 競技規則

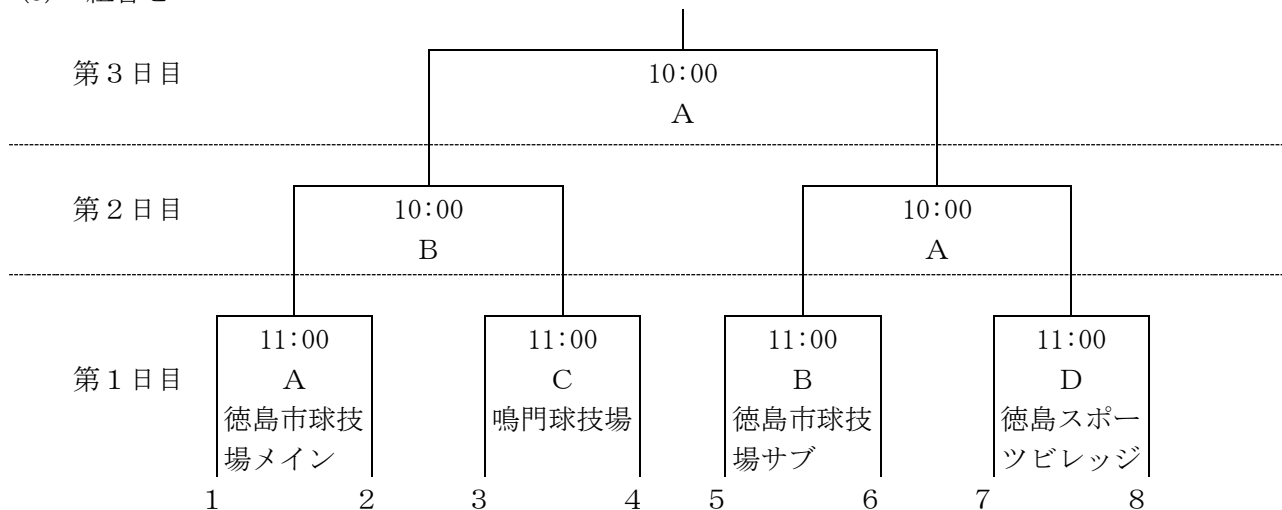
- (1) (公財)日本サッカー協会の「サッカー競技規則(当該年度)」による。
- (2) 選手登録は18名とし、試合開始前に最大限7名までの交代要員の氏名を主審に通告しておき、交代要員全員が、主審の許可を得て交代することができる。(一度退いた競技者は再び出場することはできない。)
※ 登録(申込書)に変更がある場合は、監督会議にて「変更届」を16部提出すること。
- (3) テクニカルエリアを採用する。
- (4) 使用球は公認球(5号)とする。
- (5) 本大会において、退場を命じられた選手は、次の1試合に出場することができない。違反行為の内容によっては、大会の規律委員会で、それ以後の処置について決定する。各県大会における退場による出場停止処分の未消化分に関しては、四国大会でも適用される。
- (6) 本大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。各県大会における警告の累積による出場停止の未消化分に関しては、四国大会では適用されない。

3 引率者及び監督

令和7年度全国中学校体育大会、第56回全国中学校サッカー大会要項に準ずるものとする。

4 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。
- (2) 試合時間は60分(30分ハーフ)とする。勝敗が決しないときは、10分間(5分ハーフ)の延長を行う。なお決しないときは、PK方式により勝敗を決定する。
- (3) 組合せ



5 その他

- (1) ユニホームは参加申込書に記入したもの。参加申込書類送付以降の変更は認められない。なお、背番号の変更も認めない。また、必ず正・副と異なる色のユニホーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)を用意すること。
- (2) 審判員と同一色または類似色(黒または紺)のユニホームをシャツに用いることはできない。なお、ショーツとストッキングは黒または紺のみでも可とする。ゴールキーパーについても同様である。
- (3) シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手番号を付けること。ショーツの番号については、付けることが望ましい。なお、番号は1番から99番までとする。
- (4) 雷発生の危険性が高い場合は、直ちに試合を中断し、その後の処置については、本大会の専門部で決定する。
- (5) 大会に関わるすべての者の感染症対策については、(公財)日本中学校体育連盟の「インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について」等に従うこと。

【ハンドボール】

1 参加規定

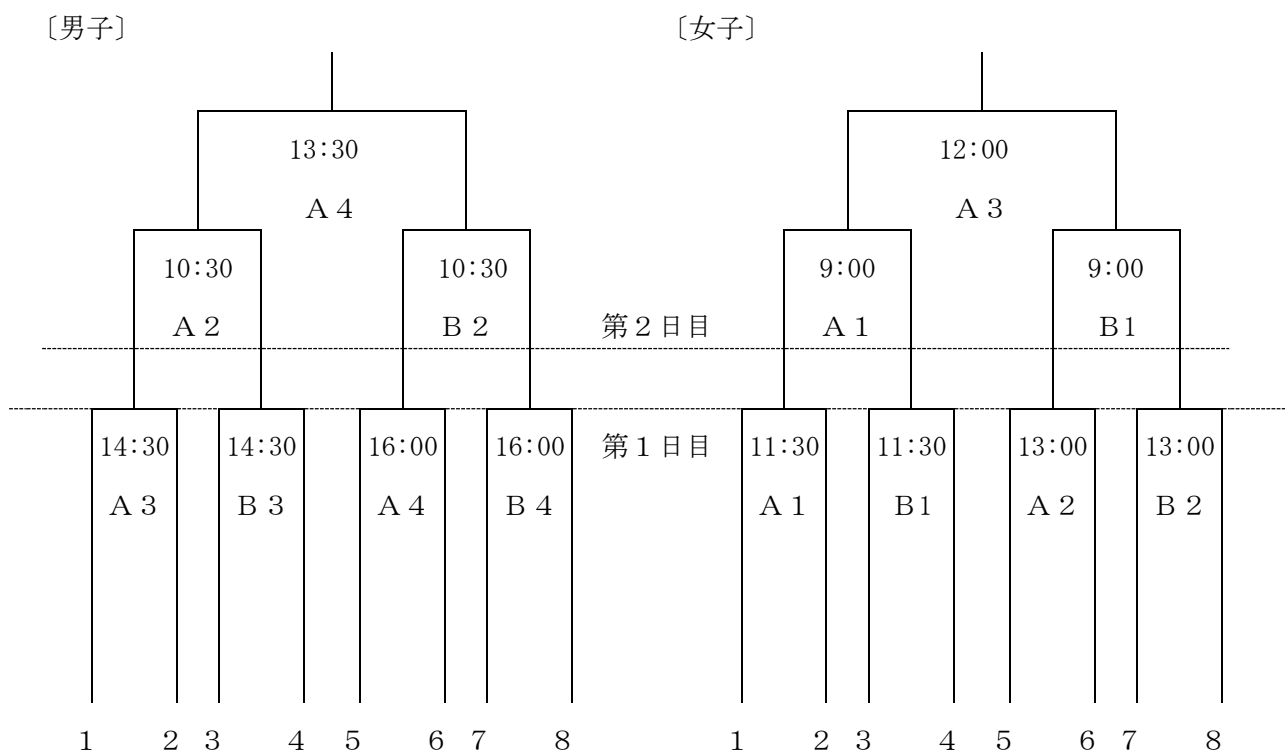
- (1) 各県男女2チームとする
- (2) 選手15名以内、役員4名以内。
(役員とは、監督1名、役員3名とする。当該校教職員及び部活動指導員であり、外部コーチは校長が認めた者でなければならない。)
- (3) 今大会の開催基準要項並びに、四国中体連発出の、複数校合同チーム編成規定、拠点校部活動参加規定、競技部が定める細則に則り参加すること。

2 競技規則

- (1) (公財)日本ハンドボール協会競技規則(当該年度規則)による。
- (2) 競技時間 25分-10分-25分
 - ① 延長戦は、準決勝戦までは第一延長のみとし、その後は7mTCとする。
 - ② 決勝戦は、正規で行い、決しない場合は7mTC(5人)とする。
- (3) ユニフォームは、コート上でCPとGKの4色が判別できるものを用意する。
- (4) 申込後の選手変更は、「変更届」に記入の上、監督会議前に本部に提出すること。
- (5) ボールは、(公財)日本ハンドボール協会検定球とする。
- (6) 本大会の使用球は<handballs playd without resin>仕様のため素手で使用することを推奨するが、両面テープは使用可とし、松ヤニ及び粘着スプレーの使用は不可とする。

3 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。
- (2) 組合せ



【軟 式 野 球】

1 参加規程

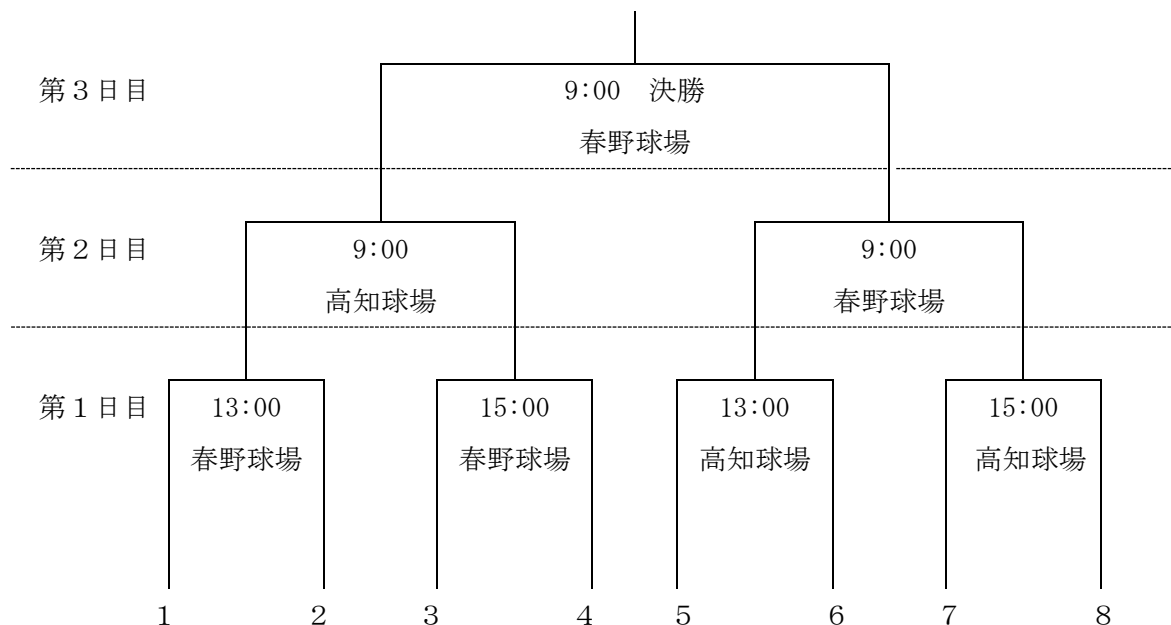
- (1) 各県2チームとする。
- (2) 1チームの編成は、監督（引率責任者）1名、選手18名以内（スコアラーを含む）とする。また、この他に教員を2名追加することができる。但し、外部指導者（コーチ）が入る場合は1名とし、計21名以内とする。地域スポーツ団体等については監督1名、コーチ2名以内、選手18名以内（スコアラーを含む）の計21名以内とし、日本中学校体育連盟軟式野球部参加規定細則に定める条件を満たしていること。なお、すべてのチームの監督は背番号30、コーチは29番、28番をつけるものとする。

2 競技規則

- (1) 当該年度公認野球規則並びに当該年度（公財）全日本軟式野球連盟競技者必携及び別に定める大会特別規定による。
- (2) 使用球は、（公財）全日本軟式野球連盟公認M号球とする。
- (3) その他の使用器具は、（公財）全日本軟式野球連盟公認（JSBBの刻印）のものとする。

3 競技方法

- (1) 全試合トーナメント方式とし、各試合7回戦とする。
- (2) 7回を完了して同点の場合は、タイブレーク戦を行う。
- (3) 背番号は1～18とし、原則としてポジション別とする。
- (4) 組み合わせ



※ 春野球場＝高知県立春野総合運動公園野球場

高知球場＝日本トーター高知市総合運動場日本トーター野球場

※ 開会式は実施しない。閉会式は実施する。なお、参加チームは決勝進出の2チームとする。

【大会特別規定】

【競技を行うにあたって】

- 1 チーム9名からの参加を認める。
- 2 得点差によるコールドゲームは5回以降7点差以上の場合に適用する。決勝戦は除く。また、試合時間の制限は行わない。
- 3 天候等による大会実施の可否、試合の中断及び日程の変更は、大会本部で決定する。その際、会場を変更したり、ナイターで試合を行ったりする場合もある。
- 4 試合を行っているチームの行為が原因で、試合続行が不可能となるようなトラブルが発生した場合、起こしたチームが責任を負うべきであるから、そのチームを敗者とする。

【試合開始前】

- 5 監督に引率されたチームは、試合開始予定時刻60分前までに会場に到着し、その旨を大会本部に申し出る。試合開始予定時刻になっても到着せず、何ら連絡がない場合は棄権とみなす。交通事情による到着遅延の場合は、大会本部で協議し、決定する。
- 6 打順表の提出は、その日の第1試合は試合開始予定時刻の40分前まで、第2試合以降は前の試合の4回終了までとする。ただし、第1試合の前に開会式がある場合は、本部で決定し、連絡する。監督と主将は打順表を持参し、登録原簿と照合ののち、前の試合の4回終了時に球審立ち会いのもと攻守を決定する。
- 7 シートノックについては以下の通りとする。
 - (1) 試合当日の最初の試合のみとするが、球場が変わった場合はこの限りでない。
 - (2) 時間は5分以内とする。状況によっては短縮または省略することもある。
 - (3) 監督・コーチ・登録選手の他に、3名の補助員（当該チーム選手）をつけて行うことができる。
 - (4) 相手チームがシートノックをしている時はベンチから出ない。ただし、先発投手のブルペンでの投球練習は認める。
 - (5) マウンドは使用しない。
 - (6) シートノックを希望しないチームは攻守決定時に本部に伝える。
- 8 ベンチ入れ替わり時、シートノックの準備ができるまでの時間に、ベンチ前でキャッチボールや素振り、準備運動をすることは認める。
- 9 試合開始予定時刻前でも、前の試合が早く終了した場合、次の試合開始を早める場合がある。その場合、開始予定時刻より30分以上は早めない。しかし、悪天候などの理由により、この限りでない場合もある。

【試合中】

- 10 ベンチ内での指示用メガホン使用は、監督に限る。また、電子機器類の使用は、電子スコア記録用としても認めない。
- 11 選手以外は、コーチスボックスに入ることはできない。
- 12 投手（救援投手を含む）の準備投球数は初回に限り、7球以内（1分を限度）が許される。次回からは3球以内とする。また、正捕手の装具準備時において残り2球を過ぎる場合、予備捕手は立って捕球する。
- 13 熱中症予防のため、3回と5回終了時に3分間の給水タイムを設ける。また、5回終了時及び延長戦開始前にグラウンド整備を行う。なお、暑さ指数（WBGT）が31℃に達すると予想される場合については、2回、4回、6回裏終了時に給水タイムを設ける。その場合は4回終了時にグラウンド整備を行う。
- 14 熱中症予防のため、守備時間が長引いた場合、イニングの途中であっても給水タイムを設ける（20分を目安として本

部で判断し、打者のプレイ完了後に給水タイムを設ける)。

- 15 監督が投手のところに行く回数の制限について「投手のところに行く」とは、監督がタイムをとってグラウンドに出て、投手または投手を含む野手が集まっているところで指示を与える状態を指す。伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与えて直接投手のところに行かせた場合、投手の方からファールラインを越えて監督の指示を受けた場合も同じとする。
- 16 ボールデッドで改めてタイムをとる必要がない状態の時も、「15」と同じ行為であれば回数に数える。

【その他】

- 17 テーピングをする場合、露出する部分については肌の色に近いものを用いる。
- 18 日光が眩しい場合、サングラスの使用を認める場合がある。サングラスを使用する可能性のある時は、試合前（メンバー交換時）に主催者・審判員に申し出て許可を得たものの使用を認めることとする。メガネ枠は黒、紺またはグレーなどとし、メーカー名はメガネ枠の本来の幅以内とする。グラスの眉間部分へのメーカー名もメガネ枠の本来の幅以内とする。また、著しく反射するサングラスの使用は認めない。
- 19 DH制は適用しない。

競技上の注意事項

- 1 選手の頭髮・身なり等は中学生らしく、試合中はもちろんのことスポーツマンらしい態度で大会に参加すること。
- 2 応援については、監督が責任をもつ。
- 3 応援団は次のことを守って応援すること。
 - (1) 応援はあくまで自チームの応援であって、野次など相手チームや選手が不快な思いをいただくような言動は禁止する。
 - (2) 太鼓等の鳴り物やプラスバンドの応援を認めるが、自チームが攻撃している場面での応援とする。自チームが守備側のときは、座っていることが望ましい。応援の切り替えは3アウト成立時とする。
 - (3) 紙吹雪・紙テープ・個人名を書いたのぼりを使うことは禁止する。
 - (4) 応援席を散らかさず、ゴミは持ち帰り、美化に心がける。
 - (5) 試合を妨害するような応援はしない。
 - (6) メガホンを使用してもよい。
 - (7) 笛（ホイッスル）は使用してもよいが、投手が投球動作に入ると同時に突然使用したり、使用をやめたりするなど投手の投球に影響を与えるような使用は慎む。また、四死球やワイルドピッチ・パスボールなどのときに、笛で盛り上げることをないようにする。
 - (8) 拡声器や音響機器の使用は禁止する。
 - (9) 許可された場所以外にテントを張ることは禁止する。
 - (10) 動画を撮影することは認めるが、その動画を大会期間中にSNSに上げることは禁止する。
- 4 監督等の服装については、次の通りとする。
 - (1) 監督・コーチは選手と同じユニフォームを着用し、監督は30番、コーチは29番、28番の背番号をつける。
 - (2) 監督・コーチではない教員がベンチに入る場合は、平服（白いワイシャツまたはポロシャツが望ましい）に選手と同一の帽子とする。
 - (3) サングラスは使用しない。事情がある場合は大会本部の許可を得る。
- 5 背番号は、一桁までは原則としてポジションを示す数字であり、全員が続き番号であること。
- 6 試合開始・終了時の礼は両チームが同時に行う。また、相手チームと別に審判員に礼をすることはしない。
- 7 試合終了の挨拶をもってすべてを終了とし、速やかにベンチを空ける。ただし、応援席への挨拶は認める。
- 8 試合進行や大会運営の円滑化のため、次のことに留意する。
 - (1) 無用なタイムをとることを慎む。
 - (2) 先頭打者とベースコーチは攻撃前のミーティングには参加せず、駆け足で位置につく。
 - (3) 出塁した際、バッティング手袋をベースコーチに渡さず、自分のユニフォームのポケットの中に入れておく。走塁用手袋に変えるためにタイムをかけ、試合の進行を遅らせてはならない。
- 9 各チームの監督は、試合終了後に大会本部に連絡し、次の試合日程や連絡事項の確認を行うこと。

確認事項

1 ユニフォームの着用について

(1) 見苦しくないように着用する。

- ① 上着の裾を出さず、たるませずベルトが見えるように着用する。
- ② パンツの裾はストッキングのふくらはぎの部分が見えるまで上げる。
- ③ 肩の部分をたくし上げない。

(2) ユニフォームの上着に個人名は入れない。また、ノースリーブの上着は認めない。

(3) ストッキングについて次の通りとする。

- ① 危険防止のため、アンダーソックスとストッキングの両方を着用する。
- ② ハイカットストッキングは禁止する。

公益財団法人全日本軟式野球連盟規程細則には、「ユニフォームの袖の長さは両袖同一で、左袖に日本字またはローマ字による都道府県名を必ずつけなければならない。また、他のものをつけてはならない。」と記されている。本大会では特に規制はしないが、この規程に沿ったものを推奨する。

(4) 複数校合同チームとして参加する場合は、各校のユニフォームの混在で参加する。

(5) 拠点校部活動として参加する場合は、拠点校となる学校のユニフォームで統一し、参加すること。ただし、特別な事情と認められた場合は、この限りでない。

2 ユニフォーム以外の用具・装具等について

(1) 用具・装具の使用は、以下に定められたもの以外は、公認野球規則及び競技者必携に定められたものを使用しなければならない。また、特に記載のない用具・装具等については原則使用禁止とする。

(2) 使用を禁止するもの

- ① リストバンドは使用できない。
- ② 滑り止めスプレーは使用できない。
- ③ 走者が出塁時に、一回り大きいサイズの走塁用手袋の使用はできない。
- ④ マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものの球場内への持ち込みは禁止する。
- ⑤ レッグガード・エルボーガード・手甲ガードは原則使用禁止とする。事情により使用を希望する場合は、試合前（打順表提出時）に主催者・審判員に申し出て許可を得る。

(3) 使用できるが、色等の指定があるもの

- ① 打者・走者・守備時の野手の手袋の使用を認める。色は白・黒の一色とする。手袋とサポーターの一体型のものの使用も認める。
- ② ヘルメットはSGマークのついたもので、チームとして色やデザインは同一のものを着用する。また、安全性が確保できないと判断されたもの（例：保護パット不装着、ひび割れ等）は使用できない。※フェイスガードつきヘルメットについては原則使用禁止とする。事情により使用を希望する場合は、試合前（打順表提出時）に主催者・審判員に申し出て許可を得る。
- ③ スパイクのチーム内（指導者も含めて）での甲被カラーは、白または黒の一色とし、チーム内での混在を認める。
- ④ 木製バットは、黒色・ダークブラウン系、赤褐色系及び淡黄色系とし、木目を目視できるものとする。ただ

し、拙劣な塗装技術を用いていないものとする。

- ⑤ アームスリーブは医療目的に限り、サポーターに準じて使用を認める。ただし、アンダーシャツと同色とする。

(4) 試合前（打順表提出時）に主催者・審判員に申し出て許可を得た場合に使用できるもの

- ① 医療目的でのサポーター（手首や指を固定、保護する目的のもの）の使用は認める。ただし、色は白・黒・ベージュの一色のものとする。
- ② 健康上の理由及び球場の条件によってサングラスの使用は認める。メガネ枠は黒、紺またはグレーなどとし、メーカー名はメガネ枠の本来の幅以内とする。ガラスの眉間部分へのメーカー名もメガネ枠の本来の幅以内とする。また、著しく反射するサングラスの使用は認めない。

3 その他の事項

- (1) テントの設置については、スタンド（各ベンチより外野側は設営可）のみとし、それ以外へのテントの設営は禁止する。
- (2) 試合前のグラウンドでのウォームアップに関して
 - ① 登録メンバー（選手、監督、コーチ）と補助員3名のみとする。
 - ② ユニフォーム着用者以外のグラウンド内への立ち入りを禁止する。ただし、第1試合チームは打順表の交換まではチームで統一されたTシャツも可とする（アンダーシャツのみは禁止する）。
 - ③ グラウンドに出る際は、必ず着帽する。
- (3) 補助員の服装は選手と同じユニフォームとするが、準備（用意）できない場合は練習用ユニフォームまたはチームTシャツでもよい。
- (4) 教員が平服でベンチに入る場合は、緊急時対応（怪我等）以外、グラウンドに出ることができない（ノック等でグラウンドに出る場合はユニフォームを着用すること）。
- (5) 試合中の控え選手のグラウンド内でのウォームアップは、攻守交代時に限り、ファウルグラウンドで外野の方向へのランニングを認める。
- (6) スタンドでのまとまった応援は、ベンチよりも外野側で行うこととする。

4 野球規則、競技者必携に記載があるが、もう一度確認してもらいたいこと

- (1) 7回を完了して同点の場合は、次の方法により勝敗を決定する。

- ① 延長戦は行わない。
- ② タイブレイク方式とする（勝敗が決するまで継続する）。

<タイブレイク方式>

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁の走者は順次前の打者とする。すなわち、0アウト1・2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。なお、規定によって認められる選手の交代は許される。

- (2) 投手が手首や腕にサポーターなどを使用することは禁止する。テーピングについても投球時にボールに触れる部分と露出する部分については禁止する。
- (3) 試合前のグラウンドでのハーフ打撃、フリー打撃は禁止し、トスバッティングまでとする。
- (4) 次の試合の先発バッテリーに限り打順表の提出後、試合に差し支えないようにブルペンでの投球練習を許可する。
- (5) 選手交代の申し出は、監督が行う。

- (6) 投手の投球数は1日100球、大会期間中350球までとする（タイブレーク方式も含める）。ただし、投球数が100球に達した打者までは100球を超えて投球してもよい。また、大会期間中、350球に達した打者までは350球を超えて投球してもよい。※雨天等の順延のため、ダブルヘッダーとなった場合も、本規定を適用する。
- (7) 用具・装具については、試合前に審判員または大会役員の確認に応じなければならない。

① 点検内容については、以下の通りとする。

(1) バット

- ① 金属疲労による「ひび」などがないか。
- ② へこみやくぼみ、亀裂はないか。
- ③ 木製バット以外の握りの部分は、市販のグリップテープ専用テープで止めてあるか。
- ④ グリップテープが摩耗していたり、剥がれたりしていないか。
- ⑤ エンドテープが剥がれていないか。
- ⑥ 金属バットは、J S B B公認のものであるか。
- ⑦ バットの規制がある場合は、規格外のものはないか。

(2) ヘルメット

- ① S Gマークがついているか。
- ② 両側にイヤーフラップがあるか。
- ③ 内側の保護パットがついているか。また、パットが固定されているか。
- ④ 亀裂や破損はないか。
- ⑤ チームとして、色やデザインが同一（同意匠）であるか。

(3) 捕手の装具

- ① マスク・レガーズ・プロテクターは、J S B B公認のものであるか。
- ② ヘルメット・マスクは、S Gマークがついているか（2023 年度、マスクについては緩和）。
- ③ マスクにスロートガードが装着されているか。ただし、スロートガード一体型のマスクは装着しなくてもよい。
- ④ マスク・レガーズ・プロテクター及びヘルメットに亀裂や破損はないか。
- ⑤ 捕手はファウルカップを装着しているか。
- ⑥ 予備捕手の装具についても、同様であるか。

(4) グラブ

- ① 「綴じ紐」の長さは、親指より長くないか。
- ② 投手のグラブについて
 - ア 縁取り・縫い糸を除き白色・灰色以外のものであるか。
 - イ 色がPANTONEの色基準14番よりも薄い色でないか。
 - ウ 縁取り、絞め紐・縫い糸を除くグラブ本体（捕球面・背面・網「ウェブ」）は1色であるか。また、そのグラブの色と異なった色のものを、グラブにつけていないか。

(5) 手袋

- ① 野球用の手袋であるか。
- ② 色は白・黒の単色であるか。

② 指摘を受けた時に補修することは認める。その場合、補修完了後、再度点検を受ける必要がある。

【体 操 競 技】

1 参加規程

(1) 団 体

各県1チームとする。県大会で優勝した学校・地域クラブ活動を県代表とする。

チームは最大4名と補欠2名をもって編成する。(最低構成人数は3名)

(2) 個 人

県大会における個人総合成績上位4名が出場権を得る。

4名の中に団体チームの選手がいる場合、繰り上げとなる。

団体チームがない場合は、個人8名までの出場を認める。

2 競技日程

8月1日 (金)

8:00～	開場・セッティング
12:00～	専門部長会議
13:00～15:00	割当練習
15:30～	監督会議
16:00～	開会式

8月2日 (土)

8:00～	開場
9:00～11:00	割当練習
11:00～13:00	競技
13:00～	カッティング
15:00～	閉会式・表彰式

3 競技規則

- (1) 日本体操協会制定男子採点規則当該年度版中学男子適用規則を採用する。
- (2) 日本体操協会制定女子採点規則当該年度版変更規則Ⅰ・女子体操競技情報最新版を採用する。
- (3) 申込後、選手変更がある場合は、「変更届」を専門部長会で大会本部に提出する。

(4) 競技種目

(男子) ● ゆ か (広さ: 12m平方 時間: ～70 秒)

● あ ん 馬 (高さ: 115 cm ※跳びつき用として50cmまでの補助台使用可)

● 跳 馬 (高さ: 125 cm 1 助走 1 演技)

● 鉄 棒 (高さ: 275 cm)

(女子) ● 跳 馬 (高さ: 125 cm 3 助走 2 演技)

● 段違い平行棒 (高さ: 上棒 255 cm、下棒 175 cm<20cm マット>)

● 平 均 台 (高さ: 125 cm<20 cm マット> 長さ 5 m 幅 10 cm 時間～90 秒)

● ゆ か (広さ: 12m平方 時間: ～90 秒)

4 競技方法

団体総合

男子＝3種目(ゆか、跳馬、鉄棒)の自由演技の各種目のベスト3の合計とする。

女子＝3種目(跳馬、平均台、ゆか)の自由演技の各種目ベスト3の合計とする。

個人総合

男子＝４種目（ゆか、あん馬、跳馬、鉄棒）の自由演技 計４種目の合計とする。

女子＝４種目（跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆか）の自由演技 計４種目の合計とする。

５ その他

- (1) 男女各３名の審判を各県から帯同する。
- (2) 服装は、体操競技にふさわしいユニフォームを着用すること。

● 審判の服装 男：上…白 下…グレー（スラックス）

女：上…白 下…紺（スカート、スラックス）

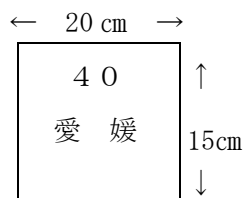
● 監督・外部指導者(コーチ)・テクニカルアドバイザーは、短パン厳禁。

- (3) 団体チームの演技順序は、種目毎にオーダー表により行う。
- (4) 演技内容は、危険性のないようチームで責任を持つ。
- (5) 背番号を必ずつけること。

大きさ：たて１５cm よこ２０cm

男 子：白地に黒文字 女 子：白地に赤文字

背番号 県 名	団 体		個 人
	正選手	補 欠	県大会下位のものからつける
香 川	10～13	14～15	16 ～ 19
徳 島	20～23	24～25	26 ～ 29
高 知	30～33	34～35	36 ～ 39
愛 媛	40～43	44～45	46 ～ 49



- (6) 演技は、団体→個人の順に行う。
- (7) フロアには、選手・監督（チームリーダー）及び各校１名のコーチ（コーチ証表示）かテクニカルアドバイザーが入ってよい。
- (8) 演技前のアップ時間
女子：１人跳馬２本、平均台・ゆか３０秒、段違い平行棒５０秒以内とする。
男子：１人跳馬２本。ゆか・あん馬・鉄棒３０秒とする。
- (9) 女子個人出場の選手には、１名の音楽係をつけてよい。
- (10) 競技規則に従い、ピタリマットを入れる。ピタリマットがない場合は、普通のセーフティーマットの使用も可とする。
- (11) 会場により、器械の規格、高さ、マットの厚さ等、完全には対応できない場合がある。
- (12) 「遵守事項２０２５」に準ずる。

【新 体 操】

—女子—

1 参加規程

(1) 団体

各県2チームとする

1チーム5名とし、3名の補欠を申し込むことができる。＊必要最低人数5名

(2) 個人

個人は各県3名とする。

2 競技規則

(公財)日本体操協会 新体操女子採点規則当該年度版ジュニアルール及び、当該年度中体連ルール(ホームページ確認)を適用する。

団体及び個人の選手は、それぞれのチームを示す標識(マーク)を前面ウエストより上につける。
マークの大きさは、3cm×3cm以上の大きさとする。(団体は同一のマークであること)

3 競技種目及び競技方法

(1) 団体は、自由演技のみとし、手具は「フープ5」とする。

(2) 個人は、自由演技のみとし、手具は「ボール・フープ」とする。

(3) 演技時間 団体女子：2分15秒～2分30秒とする。

個人：1分15秒～1分30秒とする。

4 その他

(1) 演技順序は、抽選による。

(2) 審判員は各県より4名派遣する。(原則、1名は各県専門部長とする)

(3) フロアーマット(アンダーマット有り)を使用する。

(4) 音響は、各チームで準備する。

(5) 撮影許可書を希望するチームは、必要部数を参加申込書に記入する。

(6) ビデオ、カメラの撮影は撮影許可証を持った人のみとする。

(7) 外部コーチは外部コーチ証をつけること。ただし、試合の際、コーチの活動は、公式練習場に限る。

(8) 申込み後、登録選手に変更がある場合は、「変更届」を監督会議にて本部に提出すること。

(9) 団体終了後、個人練習時間までを5分とする。

(10) 審判は、年度ごとに、縦列で右にローテーションする。

(11) 会場掲示用チーム名を表す旗は、各所属一枚のみとし、学校名やクラブ名などチーム名とする。
個人名は禁止する。

審 判			1	2	3	4
	団体	DB	高知	愛媛	徳島	香川
		DA	徳島	香川	高知	愛媛
	個人ボール	DB	高知	愛媛		
		DA	徳島	香川		
	個人フープ	DB	香川	徳島		
		DA	愛媛	高知		
	女子団体・ 女子個人 ボール・フープ	A	愛媛	徳島	香川	高知
		E	香川	高知	愛媛	徳島

【バレーボール】

1 参加規定

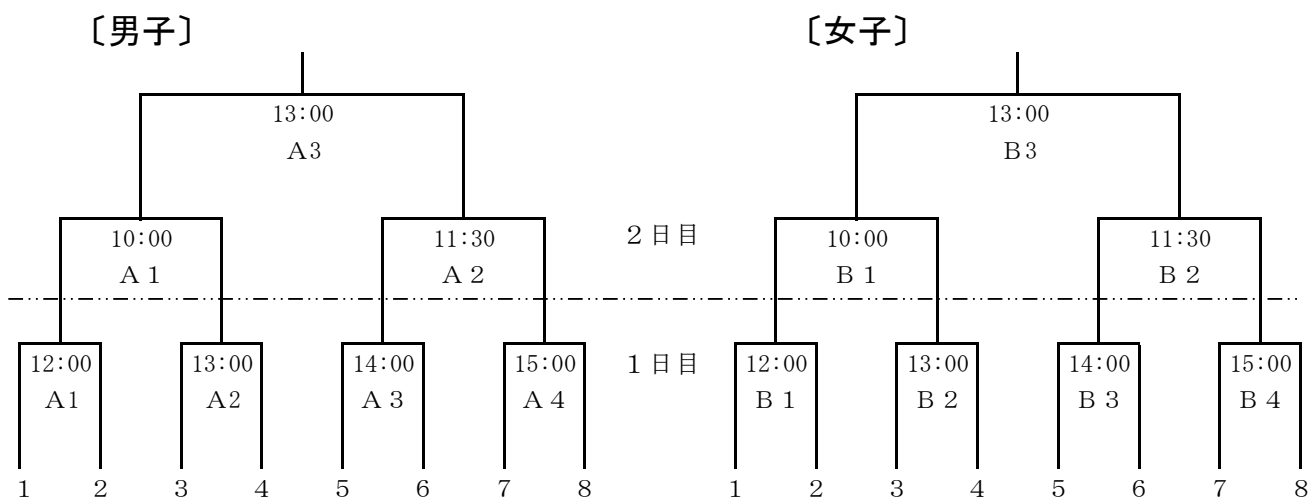
各県男女各2チームとする。

2 競技規則

- (1) 当該年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び、（公財）日本中体連バレーボール競技部競技規則に準じて行う。
※ リベロプレーヤーについては、一般と同様の「リベロリプレースメント」ルールで行う。
（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）
- (2) ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。
- (3) ボールは4号球で、人工皮革・カラーボールとする。
- (4) ラインアップシートは、試合ごとに作成し、提出すること。
- (5) ベンチに入れる者は、選手12名以内と監督、コーチ、マネージャー（生徒に限る）各1名とする。
監督・コーチは、当該チームの代表者・校長・教員・部活動指導員であり、引率者としての責任を負う。
学校のチームにおいてコーチが外部指導者（コーチ）の場合は、当該校の校長が認めた者で、外部指導者（コーチ）証をつけること。
※ 監督・コーチの服装は、統一されたものとする。（短パン・ランニングは不可）
- (6) ユニフォームについては、規定を遵守すること。
（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）
- (7) 3位決定戦は行わない。
- (8) 「給水のためのタイムアウト」及び「熱中症対策としての団扇使用」を採用する。
（取扱いの詳細は、（公財）日本中体連バレーボール競技部のホームページを参照すること。）

3 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。
- (2) 設定時刻は、試合開始時刻とする。
- (3) 組み合わせ



【ソフトテニス】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で、上位2チームを選ぶ。

(2) 個人戦

各県男女8ペア。各県の個人戦の成績順位で、上位8ペアを選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の(公財)日本ソフトテニス連盟競技規則(ハンドブック)及び本大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球(白)を使用する。今年度、団体戦は男女ともケンコーボール、個人戦は男子アカエムボール、女子ダンロップボールとする。

(3) ユニフォームは、上は半袖のゲームシャツ(襟なし可)、膝より上のパンツ、スコートを着用すること。

ユニフォームは、公認メーカーのカタログ記載(以前のカタログも可)ゲームシャツとする。また、学校指定の体操服での参加は、可とする。

(アンダーウェアは黒、白、ベージュ色の単色とし、文字(メーカーロゴ除く)や模様のないものとする。)

(4) テニスシューズ(公認メーカー)を必ず履くこと。

(5) 監督・コーチがベンチに入る時は、スポーツウェアを着用し、テニスシューズを必ず履くこと。また、監督・コーチは常にIDを付けること。(監督・コーチゼッケンは不要とする。)

地域クラブ活動の監督・コーチでベンチ入れできるのは、コーチIの資格保持者(今年度習得見込み者含)である。(コーチIの資格保持者は認定カードを持参すること)

(6) 外部指導者(コーチ)のベンチ入りを認める。IDの他に【各県指定の外部指導者(コーチ)証】を所持すること。

(7) 選手変更について

① 団体戦で申し込み後、メンバーを変更する場合は、「変更届」を受付で提出し、選手変更を行う。

② 個人戦で1名が病気等で出場不可能になった場合は、「変更届」を受付で提出し、選手変更を行う。

③ 個人戦で2ペア以上出場時に各ペアの1名ずつが出場不可能になった場合は、残りの1名ずつペアを組んで出場することができる。その場合、組み合わせのどの位置に配するかは、本部で決定する。

(8) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。ただし、ハチマキの端の部分に「学校名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

(9) 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中の中央につける。ただし、四隅を留めるものとする。

① ゼッケンはB5版横(白地)の大きさの布に都道府県名、姓、学校名(地域クラブ活動名)を3段で記述する。また、県名の「県」の文字はつけず、中学校の「中」の文字はつけるものとする。

② ゼッケンの文字は「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「アルファベット」を使用し、文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。(シャツへのプリントは見えないようにする。)

《例１》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 正

18cm	香 川	1 / 4	県名（※県は不要）
	高 橋	2 / 4	
	満濃中	1 / 4	中学校名（※中をつける）
	26cm		

- ③ 県内で同名の中学校がある場合には、区別するために中学校名の工夫をしてもよい。（各地区ごとに望ましい表記をする。）

《例２》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 正

18cm	香 川	1 / 4	県名（※県は不要）
	高 橋	2 / 4	
	町立満濃中	1 / 4	中学校名（※中をつける）
	26cm		

- ④ ゼッケンの文字の位置は《例１》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。

《例３》香川県 仲多度郡 まんのう町立満濃中学校 高橋 直子

18cm	香 川	1 / 4	県名（※県は不要）
	高橋 直	2 / 4	
	満濃中	1 / 4	中学校名（※中をつける）
	26cm		

- ⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には、学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例４》香川県 善通寺市 善通寺市立東中学校 高橋 正

18cm	香 川	1 / 4	県名（※県は不要）
	高 橋	2 / 4	
	善通寺東中	1 / 4	中学校名（※中をつける）
	26cm		

- ⑥ 地域クラブ活動の場合

《例５》金毘羅クラブ 高橋 正

18cm	香 川	1 / 4	県名（※県は不要）
	高 橋	2 / 4	
	金毘羅クラブ	1 / 4	地域クラブ活動名
	26cm		

3 競技方法

- (1) 団体戦は各県から選抜された男女各 8 チーム（各県 2 チーム）（監督 1 名と選手 8 名以内でチーム編成）によるトーナメント方式の団体戦点取方式で行う。（※必要最低選手数 4 名）
- (2) 個人戦は各県から選抜された男女各 32 ペア（各県 8 ペア）によるトーナメント方式で行う。
- (3) ベンチには登録された監督・コーチの内 1 名入ることができる。登録以外の監督・コーチが入る場合には、監督（コーチ）変更届、追加届を受付で提出すること。
- (4) ゲーム数は 7 ゲームとする。
- (5) 試合開始時刻は、次のとおりとする。

（第 1 日目） 11：00～ 開会式

（第 2 日目） 9：00～ 開始式

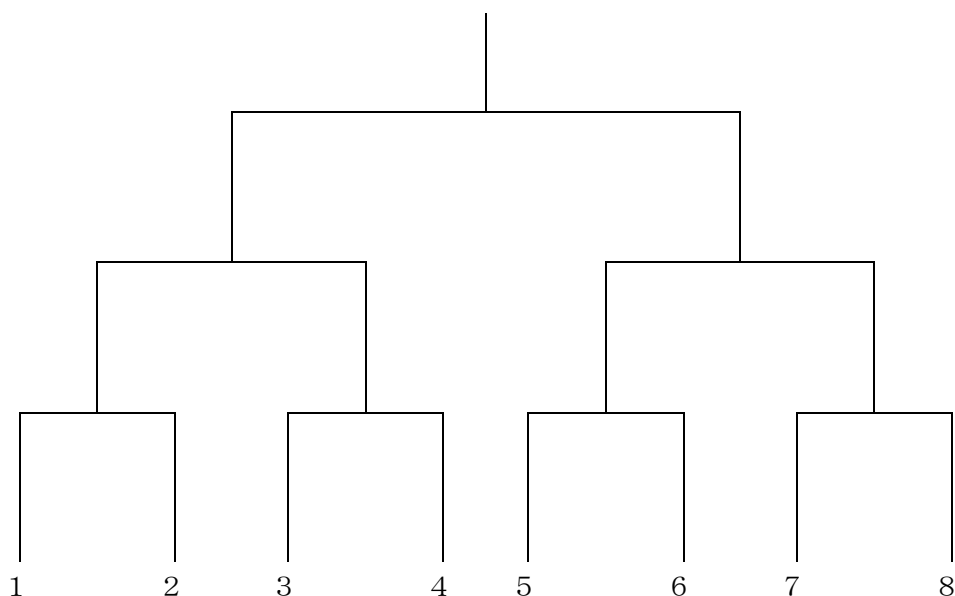
11：30～ 団体戦

9：30～ 個人戦

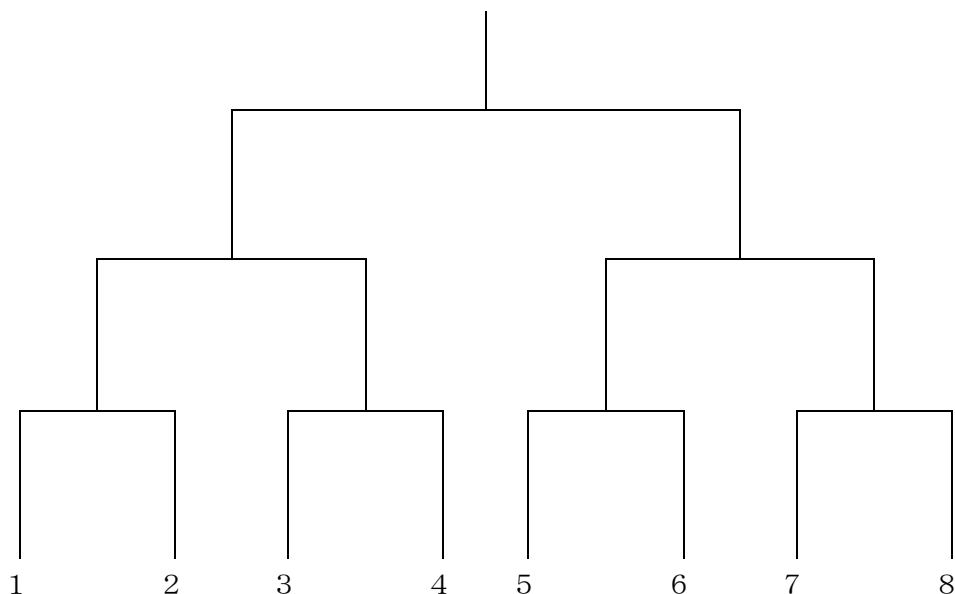
※ 個人戦の第 5 代表は、準々決勝で敗れた 4 組で、トーナメント表に基づいて決定戦を行う。

(7) 組合せ

〔男子〕



〔女子〕



【 卓 球 】

1 参加規定

(1) 団体戦

各県男女3チームとする。(選手8名以内、監督1名で編成)

※ 必要最低選手数 6名(全校生徒が卓球部の場合は4名)

※ 監督の他にアドバイザーとして、学校の場合は、出場校の教職員(部活動指導員含む)または校長の承認を得た外部指導者(コーチ)1名のベンチ入りを認める。地域クラブ活動の場合は、その構成員1名(20歳以上の成人)のベンチ入りを認める。

(2) 個人戦

各県男女上位10名とする。

※ アドバイザーとして、選手1名につき1名のベンチ入りを認める。但し、校長、教職員、生徒、校長の承認を得た外部指導者(コーチ)のいずれかとする。地域クラブ活動の場合は、その構成員1名(選手もしくは20歳以上の成人)のベンチ入りを認める。

2 競技規則

(1) 現行の日本卓球協会が制定したルールによる。

(2) 試合球は40mm、ホワイトボール(硬式認定球)とする。

(3) ユニフォームは、JTAA(日本卓球協会公認)のマークの入っているユニフォームを着用する。

(4) ゼッケン

① 出場選手は、ユニフォームの背部に、白布に選手名(姓)・県名・学校名またはチーム名を記入したゼッケンを必ずつけて出場する。

ただし、同姓の場合は名を1字だけ付け加える。

② ゼッケンは、日本卓球協会交付のものでもよい。

(5) 選手、監督、アドバイザーに変更がある場合は、受付で「変更届」を提出すること。団体戦・個人戦とも、変更届の受付は第1日目の10:30までとする。

25cm	
選手名(姓)	12.5cm
県 名	4cm
チーム名	6cm

3 競技方法

(1) 試合日程

<第1日目>

① 11:30～ 団体戦予選リーグ(5番まで)

② 終了後 団体戦決勝トーナメント1回戦(3点先取)

<第2日目>

① 9:00～ 団体戦決勝トーナメント準決勝・決勝及び代表決定戦(3点先取)

② 12:00～(予定)個人戦

(2) 団体戦

① 3チームずつのW組、X組、Y組、Z組の4リーグに分けて予選を行う。

② 各リーグに同県チームが入らないように抽選し、試合順序は次のとおりとする

	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)
W組	A 1	B 2	C 3
X組	B 1	C 2	D 3
Y組	C 1	D 2	A 3
Z組	D 1	A 2	B 3

○試合順序

第1試合 (Ⅱ)－(Ⅲ)

第2試合 (Ⅰ)－(Ⅱ)・(Ⅲ)の敗者

第3試合 (Ⅰ)－(Ⅱ)・(Ⅲ)の勝者

③ 予選リーグ終了後、各リーグの1位・2位チームは、決勝トーナメントへ進出する。

(1日目は、1回戦まで行う。)

(ア) 各リーグの1位チームから抽選する。

※ 勝ち上がりの多い県から抽選する。(同数の場合はジャンケン)

※ 同県のチームは、左右に分ける

(イ) 各リーグの2位チームは、次のことに考慮して抽選する。

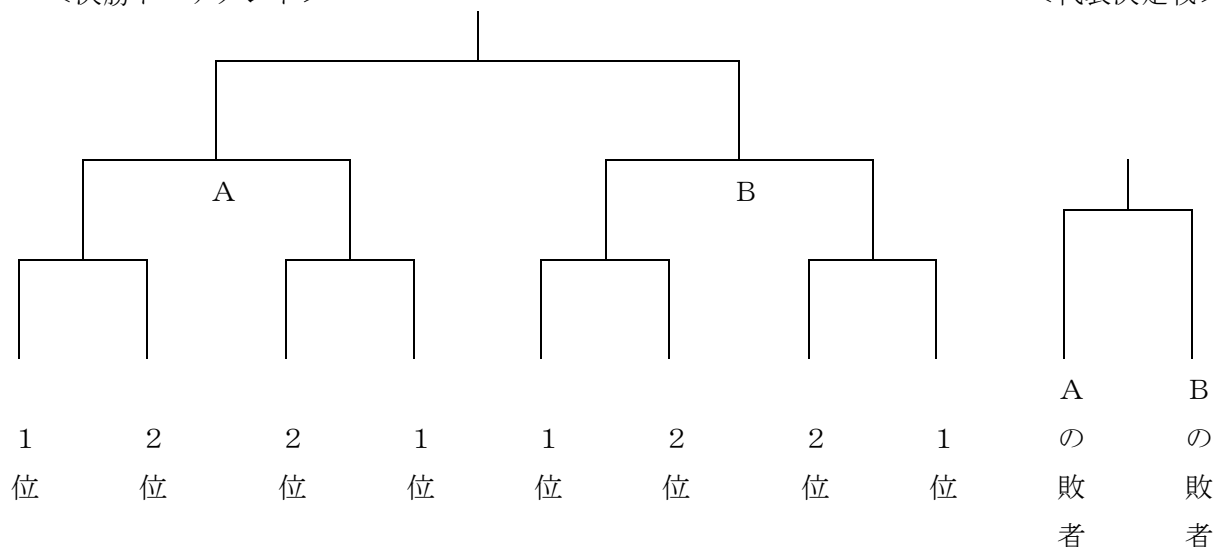
※ 1回戦での同県対戦は避ける。

※ 1回戦での同リーグ対戦は避ける。

④ 2日目は、決勝トーナメント準決勝より始め、決勝及び代表決定戦を行う。

<決勝トーナメント>

<代表決定戦>



⑤ 4シングルス・1ダブルスで、3番目にダブルスをおく。

⑥ 予選リーグはすべて5番まで行い、5試合すべての勝敗をポイントとして有効とする。

決勝トーナメント・代表決定戦の試合は3点先取法とする。

⑦ シングルスとダブルスは重複できない。

(3) 個人戦

シングルスのみとし、トーナメント方式による。

【バドミントン】

1 参加規程

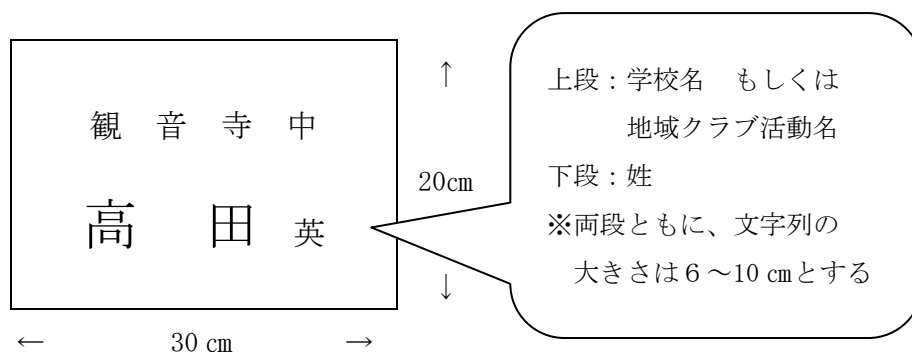
- (1) 各県男女とも次のとおりとする。

	高 知	愛 媛	香 川	徳 島	合 計
団体戦	2	2	2	2	8
個人戦シングルス	3	3	3	3	1 2
個人戦ダブルス	3	3	3	3	1 2

団体構成 … 団体戦チームは監督 1 名、コーチ又はマネージャー 1 名、選手 5 ～ 7 名を同一チーム所属選手で結成する。※必要最低選手数 5 名

2 競技規則

- (1) 当該年度（公財）日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
- (2) シャトルは、室温に適した（公財）日本バドミントン協会第 2 種検定合格水鳥球を使用する。
- (3) 外部指導者（コーチ）については、所属校長が認めた外部指導者（コーチ）証を胸につけた者に限る。
- (4) 競技時の服装は、色つき着衣を使用する場合は、（公財）日本バドミントン協会審査合格ウェアとする。
- (5) 上衣の背面中央部には、たて 20cm、横 30cm の範囲内に所属チーム名及び姓の表示をすること。また、黒か紺の日本語（楷書）で明記すること。同姓の場合は、名前の 1 字目を小さく入れる。



- (6) コーチは、マッチ（試合）にふさわしい服装で臨む事。チームユニフォーム（背面が「県名のみ」は不可とする）・Yシャツ・ポロシャツ・ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、ショーツ、スリッパやサンダル等は禁止とする。なお、チームで揃えたロングTシャツは可とする。

3 競技方法

- (1) 男女とも団体戦及び個人戦を行う。
- (2) 団体戦、個人戦ともトーナメント方式で行う。
- (3) 個人戦は、第 3 代表決定戦を行う。
- (4) 団体戦は、複 2 単 1 の対抗とし、複・単・複の順に行う。
(同一選手が、単と複、複と複を兼ねて出場できない)

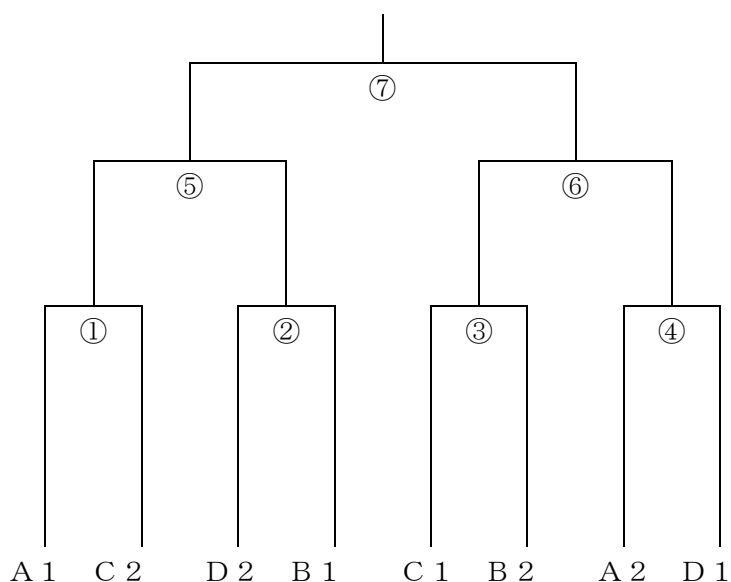
(5) 個人戦は、単と複を兼ねて出場することはできない。

(6) 競技日程は、次のとおりとする。

- ① 1日目 開会式 団体戦
- ② 2日目 個人戦 閉会式

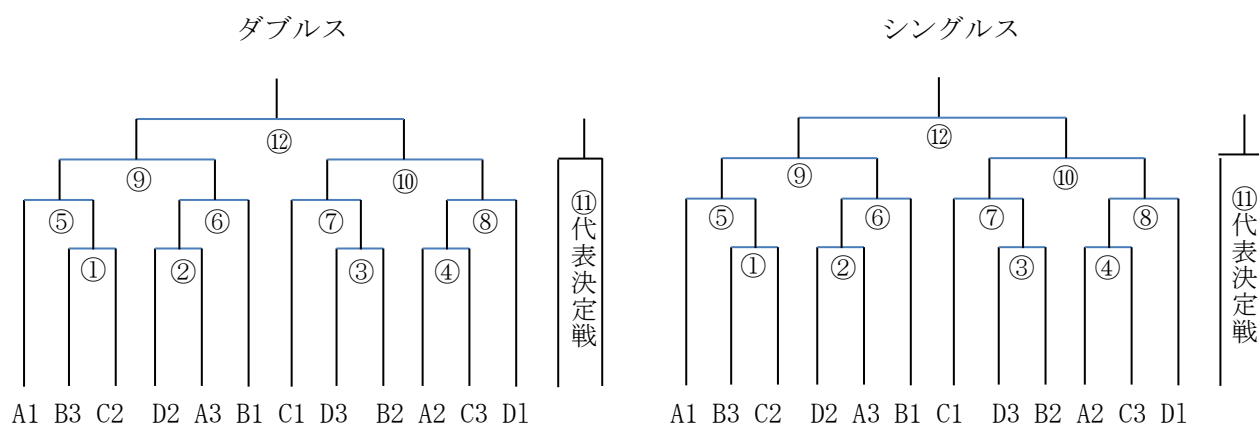
(7) 団体戦の試合方法は、次のとおりとする。

〔男子・女子〕



(8) 個人戦の試合方法は、次のとおりとする。

〔男子・女子〕



4 その他

- (1) 団体戦における負傷・疾病などによる選手の変更は、「変更届」（理由を記入）を監督会議で提出すること。
- (2) 個人戦における選手の変更は認めない。

【ソフトボール】

1 参加規程

各県男女各2チームとする

2 競技規則

- (1) 本大会は当該年度（公財）日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。
- (2) プレイヤーは18名以内（スコアラー1名を含む）とし、他のベンチ入りは、監督1名、コーチ1名、引率責任者1名、合計21名以内とする。
- (3) フィールドイングは、競技場に入ることを許されたメンバー（プレイヤーは18名以内）で行わなくてはならない。
- (4) 試合開始予定時刻30分前までに当該球場に集合すること。
- (5) 安全のため、金属製及びセラミック製のスパイクの使用は禁止する。
- (6) 背中と胸下にユニフォームナンバーをつける。監督は30、コーチは31・32、主将は10とする。ただし、引率責任者及び監督は出場チームの代表者・校長・教員・部活動指導員とする。また、コーチは所属学校の校長または教員、または、校長の承認を得てコーチ登録をした者に限る。所属学校の校長または教員以外のコーチは、胸に指定の記章をつけなければならない。ただし、地域クラブ活動においては、該当しない。
- (7) コーチにはフィールドイングは認めるが、選手交代・打ち合わせ・抗議等の権限は認めない。また、ベンチから出て指示することも認めない。
- (8) 捕手は、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクター、両足に膝当て付きレガースを着用しなければならない。なお、準備投球の時、競技場内のいかなる場所で投球練習するときにも必ずスロートガード付きマスク、捕手ヘルメットを着用しなければならない。
- (9) 打者・打者走者・走者・次打者・ベースコーチは、ヘルメットを着用しなければならない。
- (10) 1・3塁のベースコーチの一方に、監督・コーチが入ることを可とする。ただし、その際のベンチ内には、引率責任者、監督、コーチのいずれかが必ずいること。
- (11) チームのメンバーは、声を出したり、動作で投球のコースを教えたりしてはならない。
- (12) 試合終了後のあいさつですべて完了とし、次の試合のためにベンチを速やかにあける。なお、対戦チーム、バックネット裏へのあいさつは一切行わない。
- (13) 役員テント、本部テントに大会関係者以外は入れない。
- (14) 監督会議には、ユニフォームを着用して出席すること。

※(公財)日本中学校体育連盟ソフトボール競技部申し合わせ事項
(2025(令和6年)4月1日)より抜粋

3 競技方法

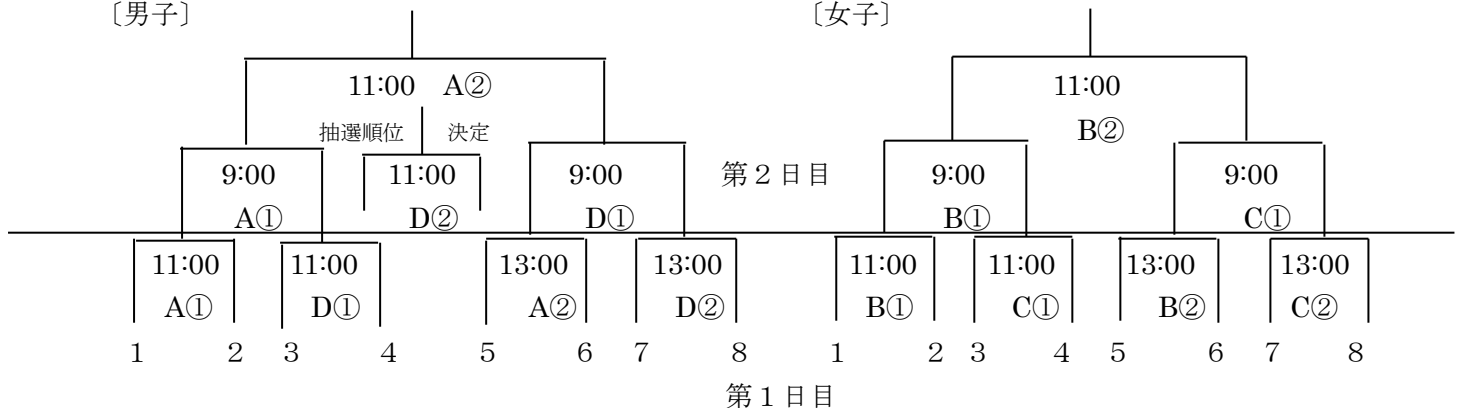
- (1) 試合方法は、トーナメント方式とし、男子は抽選順位決定戦を行う。
- (2) 試合会場は、次の通りである。なお、今年度は、開会式は行わない。

男子：吉野川北岸運動広場
A 球場・D 球場

女子：吉野川北岸運動広場
B 球場・C 球場

- (3) 組合せ
〔男子〕

〔女子〕



4 その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。また、全国大会の参加選手は、ブロック大会に参加した選手に限る。

【 柔 道 】

1 参加規程

(1) 団 体 戦

① チーム編成

各県男女各 2 チームとする。

男子……監督 1 名、コーチ 1 名、選手 7 名以内とする。（3 名以上での出場も認める。）

女子……監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 名以内とする。（2 名での出場も認める。）

② 選手オーダーは、大将より体重の重い順に編成する。交代の選手と入れ替えた場合においても同様に体重順とする。（一度退いた選手の再出場は認めない。）

(2) 個 人 戦

① 各県各階級 4 名で男子 32 名、女子 32 名、計 64 名とする。

〔男子〕

- 50kg級 (50kg以下)
- 55kg級 (50kg超～55kg以下)
- 60kg級 (55kg超～60kg以下)
- 66kg級 (60kg超～66kg以下)
- 73kg級 (66kg超～73kg以下)
- 81kg級 (73kg超～81kg以下)
- 90kg級 (81kg超～90kg以下)
- 90kg超級 (90kg超)

〔女子〕

- 40kg級 (40kg以下)
- 44kg級 (40kg超～44kg以下)
- 48kg級 (44kg超～48kg以下)
- 52kg級 (48kg超～52kg以下)
- 57kg級 (52kg超～57kg以下)
- 63kg級 (57kg超～63kg以下)
- 70kg級 (63kg超～70kg以下)
- 70kg超級 (70kg超)

(3) 体重測定

① 団体戦・個人戦出場者の体重測定は、下記の時間内に競技会場で行う。

② 1 日目 8 : 10 ～ 10 : 40 (団体・個人体重測定)

2 日目 7 : 40 ～ 8 : 40 (個人体重測定・前日計量未実施者のみ)

※ 出場者は全員体重測定を受けなければならない。

2 日程

(1) 令和 7 年 8 月 2 日 (土)

- ① 開場 8:00
- ② 体重測定 8:10 ～ 10:40
- ③ 専門部長会 9:20 ～ 10:10
- ④ 審判会議 10:20 ～ 10:40
- ⑤ 監督会議 10:50 ～ 11:20
- ⑥ 開会式 11:30 ～ 11:50
- ⑦ 競技開始 12:00
- ⑧ 競技終了後 団体戦表彰式

(2) 令和7年8月3日(日)

- | | | |
|---|-------------------|-------------|
| ① | 開場 | 7:30 |
| ② | 体重測定 | 7:40 ～ 8:40 |
| ③ | 専門部長会 | 7:50 ～ 8:10 |
| ④ | 審判会議 | 8:20 ～ 8:40 |
| ⑤ | 監督会議 | 8:50 ～ 9:20 |
| ⑥ | 競技開始 | 9:30 |
| ⑦ | 競技終了後 個人戦表彰式及び閉会式 | |

3 競技規則

(1) 国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」による。

(2) (公財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。女子の黒帯使用は、白線なしの黒帯を使用すること。

(3) 柔道衣は白色とする。

4 競技方法

(1) 団体戦

- ① 男女とも、4チームずつのA・B2リーグに分けてリーグ方式を行う。
- ② 各リーグに各県1位チーム2校、2位チーム2校を含み、同県が入らないように抽選する。
- ③ リーグ方式終了後、Aリーグの1位チームとBリーグの2位チーム、Bリーグの1位チームとAリーグの2位チームを組み合わせて、決勝トーナメント方式を行う。

※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。

- ④ 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ⑤ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」＝「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差」

⑦ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。

ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。

オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。

カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う)。

⑧ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち数による。

イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。

ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

⑨代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

⑩代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。

(2) 個人戦

①男女とも、各階級16名までによるトーナメント方式で行う。但し、参加人数が6名以内の場合はリーグ方式とする。

②試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。

③勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦（ゴールデンスコア）で新たに差がついた時点で勝敗が決する。

5 柔道衣点検

(1)公式計量に引き続き、柔道衣点検を行う。

①（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。

(2)柔道衣に必ずゼッケン（チーム名・名字入り）を縫い付けて出場すること。

①布地は白（晒、太綾）とする。

②サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。

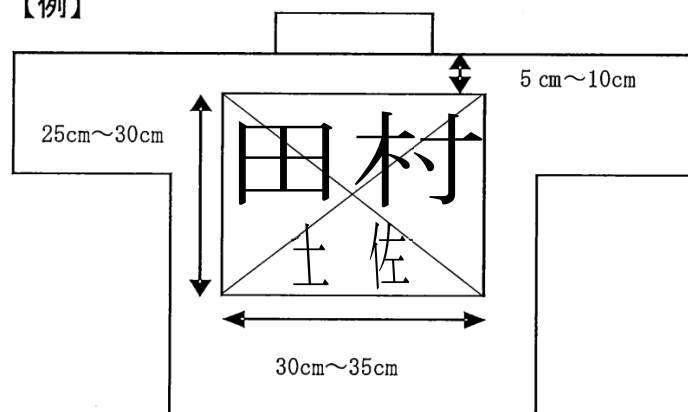
③名字（姓）は上側2／3、学校名は下側1／3とする。

④書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい）。

⑤文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。

⑥縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

【例】



(3)女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※ Tシャツのマーキングについては、（公財）全日本柔道連盟が定める規程（平成25年4月1日より施行）に準ずる。

(4)柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

(5)胸マーキングは、各所属で一致していること。（有無は問わない）

6 その他

(1)監督及びコーチは、次のとおりとする。

①監督は、出場チームの代表者・指導者であること。

②大会では外部指導者（コーチ）をおくことができる。但し、外部指導者（コーチ）は、出場校の校長が認めた者とする。1校1名とし、他校（チーム）と兼ねることはできない。

※ 大会運営に支障をきたす場合は、退場させることもある。

③監督及びコーチの服装は、審判員に準ずるものとする。

(2)大会参加申込書提出後の選手の変更は、次のとおりとする。

①団体戦選手の変更は、監督会議にて「変更届」（理由を記入）を提出する。【但し、疾病や傷害等、特殊な理由のみとする。】

②個人戦選手・監督・コーチは、申込書提出後の変更は認めない。

(3)皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任者において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。

(4)脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守する。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急専門医の精査を受けること。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④大会事務局及び（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

【 剣 道 】

1 参加規程

- | | | | |
|---------|---------------|----|----------------|
| (1) 団体戦 | 各県男女各2チームとする。 | 男子 | 正員5名（3名以上）補員2名 |
| | | 女子 | 正員5名（3名以上）補員2名 |
| (2) 個人戦 | 各県代表 | 男子 | 8名 |
| | | 女子 | 8名 |

2 競技規則

- (1) (公財) 全日本剣道連盟剣道試合審判規則・細則、並びに令和7年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項を遵守して実施する。更に、以下を含めた試合・審判の方法とする。
 - (公財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判・運営要領の手引き」令和6年9月1日改訂
 - 「令和7年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部 審判員共通認識事項」令和7年4月1日
- (2) 団体戦（予選リーグ戦）の順位判定は勝ち点による。（勝ち：1.0点、引き分け：0.5点、負け：0点）勝ち点が同数の場合は勝者数、総本数の順で行う。
- (3) 竹刀の検査（計測、計量）を行う。竹刀の長さは、男女とも114cm（約3尺7寸）以下、重さは男子が440g以上、女子は400g以上とする。竹刀の先は、男女とも長さ50mm以上の先皮を使用し、太さは、先端部最小直径男子25mm以上、女子24mm以上、ちくとう最小直径男子20mm以上、女子19mm以上とする。
- (4) 不正用具を使用した場合は、試合規則第19条－1、2、3を適用する。ただし、決勝トーナメント戦は補員を認める。（団体、個人は別ものとする。）
- (5) 補員として申し込みのない者は、選手の位置に入れることはできない。
- (6) オーダーは申し込みの通りで、申し込み後の変更は認めない。
- (7) 団体戦では、一度選手として去った者は、再び選手として出場できない。
- (8) 選手の服装は剣道着及び袴を着用（袴等、刺繍が華美にならないようにすること。学校(団体)名、校章等のワッペンや刺繍以外を剣道着の袖につけたり、入れたりしない）すること。
- (9) 選手は、布製の名札を着用する。黒または紺地に白文字とし、学校名（県名禁止）、または地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）名（横）、姓（縦）を明記する。同姓の選手がいるときは、名前の頭文字を入れること。解釈として、別な選手であることが確認できること。
- (10) 「突き技」は禁止とし、反則とすることもある。（技としては反則とする）
- (11) 上段の構えはとらせない。二刀については、使用させない。「片手打ち」は有効打突としない。隻腕については、その都度協議する。
- (12) アイガード・ポリカーボネート面及び化学繊維竹刀の使用を認める。
- (13) サポーターなど（足袋・テーピング、コルセットを含む）については、医療上必要と認める場合に限り使用を認める。使用する場合には各試合場主任に届け出たうえで許可を得ること。また、肘や膝などにつける物を足に使用することや、ゴムや革およびすべり止めを底に貼った物を使用することは禁止する。届け出と違う物を使用した場合は、替えさせる。指先単独のテーピングについては届け出不要とする。
- (14) 引率者及び監督について
 - ① 学校部活動として参加する場合の参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。
 - ② 外部指導者は「全国中学校剣道大会参加要項」に準ずる。
 - 監督の資格を有する外部指導者の場合
 - ア、監督として参加する。資格を正しく確認し、トラブル防止に努める。
 - イ、申込書の監督名の欄に外部指導者の氏名を記入し、氏名の前に（外）を記入すること。
 - 監督の資格を有していない外部指導者の場合
 - ア、練習の際は試合場に入場することができる。それ以外については、パーテーションで区切られた試合場内に入場することはできない。
 - イ、申込書の外部指導者名の欄に氏名を記入すること。
 - 登録できる外部指導者は1名とする。
 - ③ 地域クラブ活動として参加する場合の参加生徒の引率・監督は、それぞれの団体の指導者とする。

3 競技方法

(1) 団体戦

- ① 4チームずつのA・B 2リーグに分けて予選リーグ戦を行う。
- ② 各予選リーグ戦に各県1位チーム2、2位チーム2を含み、同県チームが入らないように抽選をする。
- ③ 予選リーグ戦終了後、Aリーグの1位チームとBリーグの2位チーム、Bリーグの1位チームとAリーグの2位チームを組み合わせて、決勝トーナメント戦を行う。
- ④ 試合は3分3本勝負とする。勝敗の決しない場合は、引き分けとする。
- ⑤ 団体戦(予選リーグ戦)順位の判定は勝ち点による。(勝ち：1.0点、引き分け：0.5点、負け：0点)同じ勝ち点の場合は、勝者数、総本数の順で決定する。
- ⑥ リーグ戦1位が3チームまたは4チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分3本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。なお、試合順はリーグ戦と同じとし、試合毎に代表者の変更を認める。リーグ戦2位が3チームの場合も同様とする。
- ⑦ リーグ戦1位が2チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分1本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。リーグ戦2位が2チームの場合も同様とする。
- ⑧ 決勝トーナメント戦の勝敗は、勝者数、ついで総本数によって決定する。
- ⑨ 決勝トーナメント戦において、チームの勝敗が決しないときは、任意の代表者による代表者戦を1本勝負で行う。試合時間は3分、勝敗の決しない場合は、延長を勝敗が決するまで行う。

(2) 個人戦

- ① トーナメント戦方式で行う。
- ② 試合は3分3本勝負とする。勝敗の決しない場合は、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。

(3) 延長戦

個人戦および団体戦代表者戦の延長戦は、2分ずつ区切って行う。

- ・ 試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】
⇒延長2分⇒延長2分⇒【休憩（面を外して給水）】
※上記を繰り返す。

【小休止】⇒開始線で10秒程度の深呼吸。

【休憩】⇒立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。試合再開までの時間は5分とする。

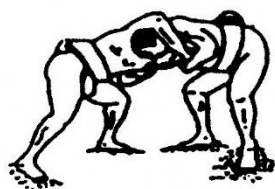
【 相 撲 】

1 参加規程

- (1) 団体戦 各県3チームとする。 選手5名（2名以上）（先鋒・中堅・大将・補員2名）
- (2) 個人戦 各県上位8名

2 競技規則

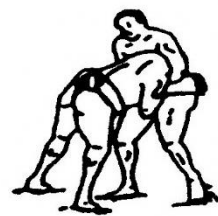
- (1) 時間は、3分を限度とする。
- (2) 禁じ技は、(公財)日本相撲連盟の「競技会規定及び審判規定」による。ただし、次の禁手（技）を加える。反則した場合は取直しとし、再度した場合は審判員の協議により負けとする。
○鴨の入れ首 ○首を脇の下に入れる ○さば折り ○かわずかけ ○反り技
○相手の首をきめる ○極め出し・極め倒し



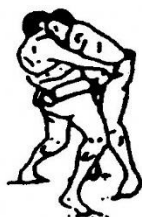
鴨の入れ首



頭を相手の胸より
下にいれる



頭を相手の脇の下
に入れる



さば折り



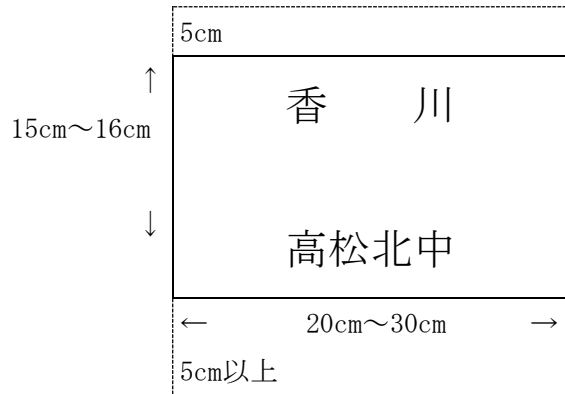
河津掛け



居反り

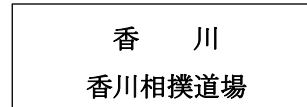
- (3) 交替選手が出場する場合は、本部の承認を要し、団体戦に限り前選手の位置を継承する。ただし、交替した選手は、再び出場することはできない。また、個人戦に欠場した者は団体戦も欠場とする。
- (4) 立合は主審のかけ声にて立つ。待ったはなしとし、1回目で必ず立つこと。双方とも両手をついて立ち合うこと。（主審の構えての声で両選手が両手をつき、主審が「引きますよ」と声をかける。続いて主審の「ハッケヨイ」で立ち合う。）
- (5) 競技の審判に対する異議申立ては、担当の審判のみに許される。一度勝ち名乗りを上げて判定した後は、一切異議の申立ては認めない。
- (6) 選手は呼出しに応じて土俵に上がり、土俵の内側において立礼若しくは塵浄水を行い、土俵中央に進み、蹲踞して主審の合図により仕切にはいる。
- (7) 服装はまわし及びアンダーパンツ以外を身につけてはならない。
※ アンダーパンツをつかんではいけない。勝敗に影響する行為があった場合は、審判団の協議とする。
- (8) 負傷者は、包帯、サポーター、足袋等を身につけることができる。但し、支柱入りのサポーター、その他相手に危害を及ぼすおそれのあると認められるものについては、この限りではない。
- (9) 外部指導者（コーチ）・部活動指導員は、当該校の校長が認めた者に限る。
- (10) 手・足のつめを端正にすること。

- (11) タオルを準備しておくこと。
 (12) ゼッケンの規定は、次のとおりとする。



- ※ 字画の太さは、1 cm位とする。
- ※ 輪にしないで、まわしにはさむようにする。
- ※ 必ず県名を入れる。
- ※ 下地は単色の布とすること。

◎地域クラブ活動等ゼッケン（例）



3 競技方法

(1) 団体戦

- ① 団体予選（各県1位チームと他県の2位・3位チームによりリーグ戦）を行い勝率，勝ち点で上位8チームを選出する。もし同率，同点となった時は，代表決定戦を行う。

（3チームの場合，トーナメント法で組合せ抽選）

- ② 上位8チームで決勝トーナメントを行う。

(2) 個人戦

予選リーグを行い，各グループの上位2名が決勝トーナメントに進出する。

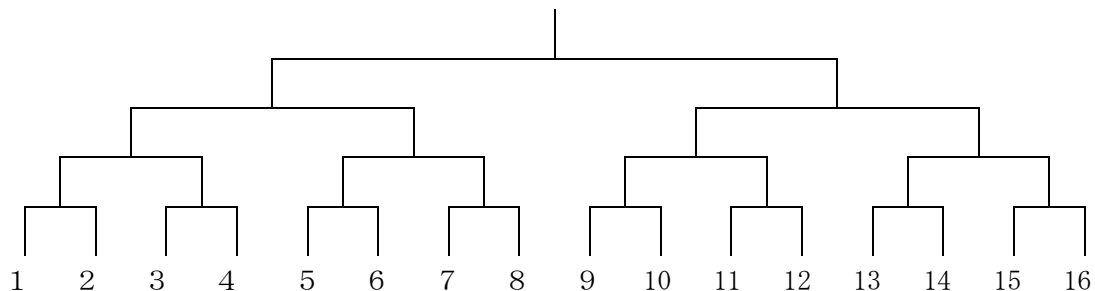
- ① 8グループによる予選リーグを行う。（県名（A～D）－順位）

aグループ	A－1	B－3	C－6	D－8	eグループ	A－2	D－4	B－5	C－7
bグループ	B－1	C－3	D－6	A－8	fグループ	B－2	A－4	C－5	D－7
cグループ	C－1	D－3	A－6	B－8	gグループ	C－2	B－4	D－5	A－7
dグループ	D－1	A－3	B－6	C－8	hグループ	D－2	C－4	A－5	B－7

※ グループ内で勝率が同じ場合は，決定戦を一度行う。ただし，勝負が決しない場合は，抽選で順位を決定する。

※ 県の事情により，8名以下の出場になった場合は，3名でリーグ戦を行うグループができる。（グループ内で勝率が同じ場合は，上記に同じ。）

- ② 決勝トーナメント（予選リーグ上位2名，計16名）



※ 各グループ1位通過者より抽選を行う。（奇数番号に振り分け）続いて，2位通過者が抽選を行う。（偶数番号に振り分け）

※ 抽選は，各グループ1位から順番に予備抽選を行い，その後本抽選を行う。各グループ2位についても同様とする。

その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。

【 テ ニ ス 】

1 参加規程

(1) 団体戦

各県男女各2チームとする。各県の団体戦の成績順位で上位2チームを選ぶ。

2 競技規則

(1) 競技規則は現行の日本テニス協会の競技規則及び大会開催要項による。

(2) 使用球は公認球（黄色）を使用する。

(3) ユニフォームは、上はゲームシャツ、下は短パン・膝より上のパンツ、スコート（ショートパンツ）を着用すること。（全国中学生テニス選手権大会の規定に準ずる）

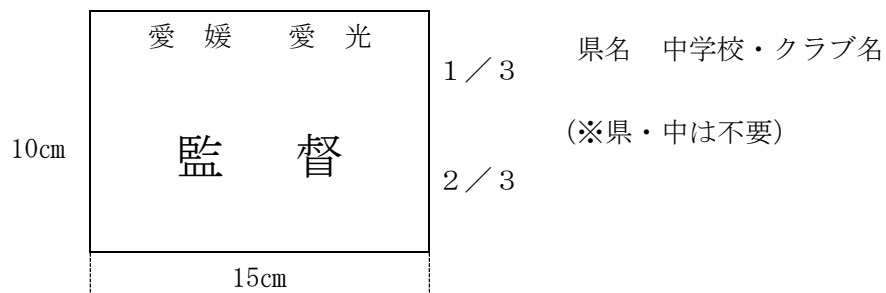
〔注意〕 服装（用具を含めて）の色等は華美にならないようにし、公認メーカーのものを使用する。

(4) テニスシューズを必ず履くこと。

(5) 監督がベンチに入る時は、スポーツウェアを着用し、テニスシューズを必ず履くこと。

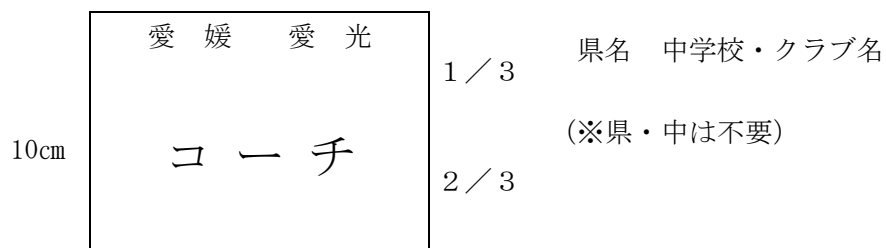
また、監督は胸にゼッケンを付けること。なお、背中のゼッケンは不要とする。

〔監督のゼッケン〕



(6) 外部指導者（コーチ）のベンチ入りを認める。【外部指導者（コーチ）証】を所持すること。

〔外部指導者（コーチ）のゼッケン〕



(7) 選手変更について

団体戦で、申し込み後メンバーを変更し直す場合は、「変更届」を大会本部に提出する。

(8) ハチマキには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。

ただし、ハチマキの端の部分に「学校かクラブ名・名前」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。

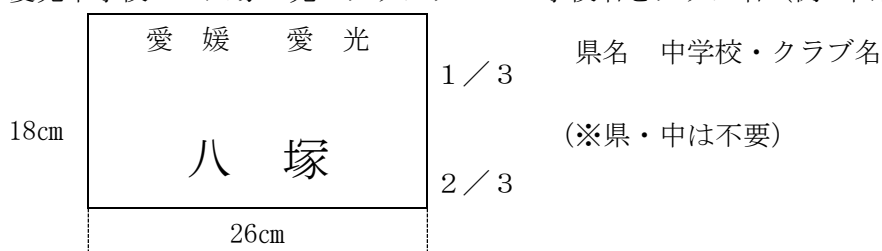
(9) 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中に縫いつけること。着脱しやすいようにホック、マジックテープ、安全ピンで止めることは可とする。

① ゼッケンはB5版横（白地）の大きさの布に県名、学校かクラブ名、姓を記述する。

また、県名の「県」、中学校の「中」の文字はつけないものとする。また、県名と学校・クラブ名の間は空白とする。

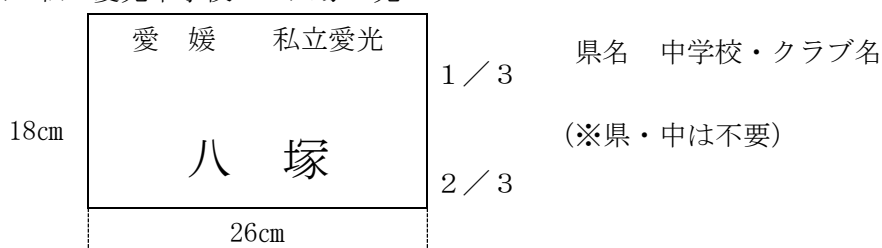
- ② ゼッケンの文字は「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。
 シャツそのものへのプリントは認めない。

《例 1》愛媛県 私立愛光中学校 八塚 光 クラブチーム⇒学校名をクラブ名（例：山田TC）



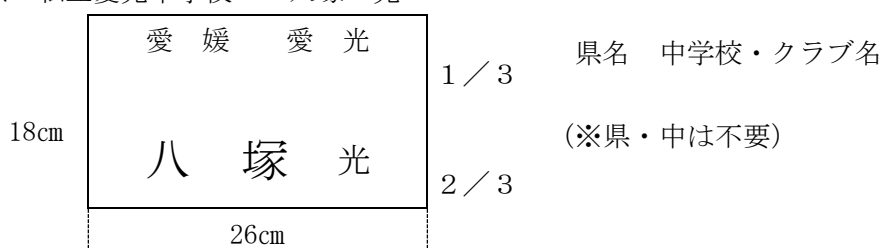
- ③ 県内で同名の中学校がある場合には、区別するために中学校名の工夫をしてもよい。（各地区ごとに望ましい表記をする。）

《例 2》愛媛県 私立愛光中学校 八塚 光



- ④ ゼッケンの文字の位置は《例 1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。

《例 3》愛媛県 私立愛光中学校 八塚 光



- ⑤ 中学校名が第一・第二中学校や東・西・北・南中学校のような場合には、学校名を分かりやすくするために学校所在地を付記してもよい。

《例 4》愛媛県 松山市立南中学校 八塚 光



- (10) 第 5 2 回日本中学生テニス選手権大会への出場権は、学校関係の上位校（男子 3 校、女子 2 校）になります。テニス競技は、日本中学校体育連盟に加盟できていないためクラブチームの参加はできません。

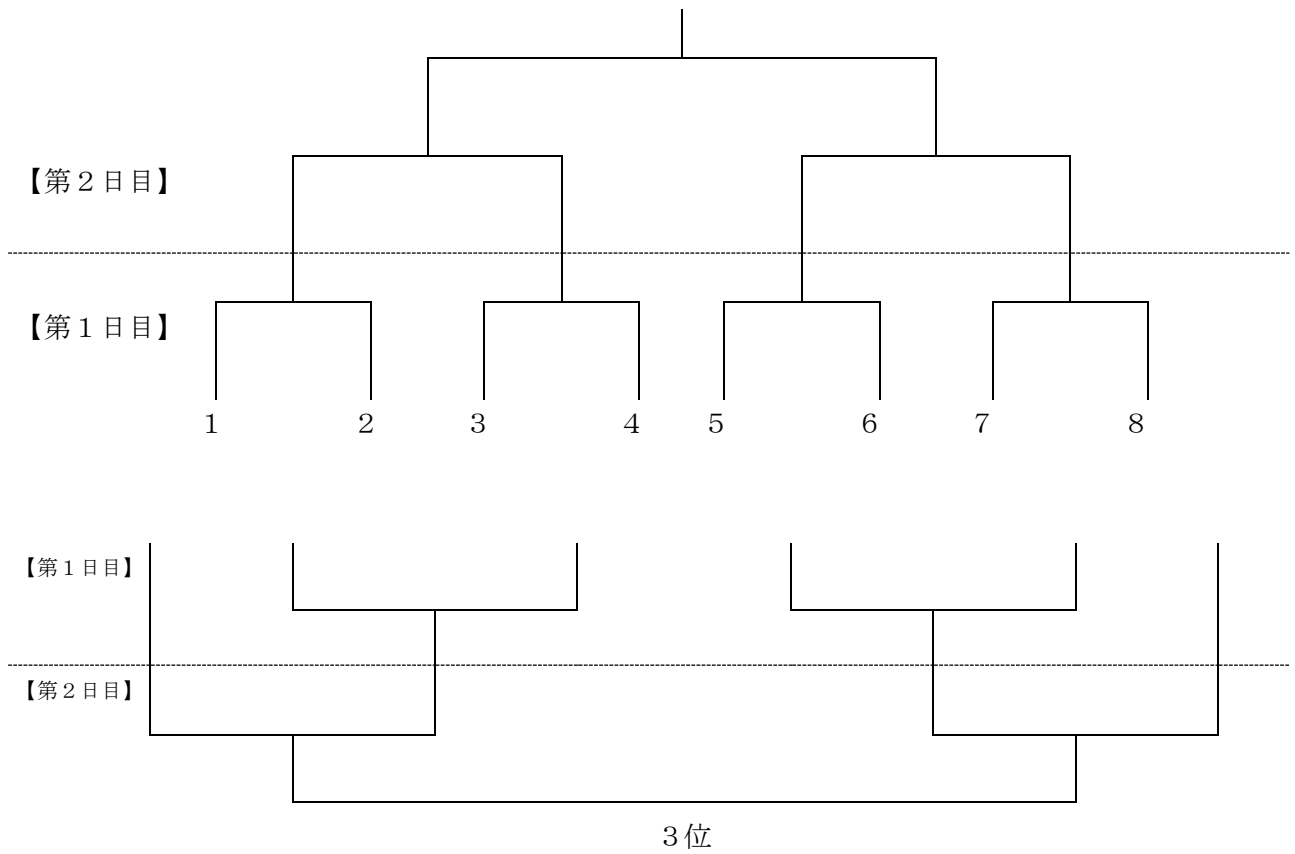
3 競技方法

- (1) 団体戦は各県から選抜された男女各 8 校（監督 1 名とシングル 3、ダブルス 2 の選手 7 名で 1 チーム編成 登録 10 名以内）によるトーナメント方式とし、状況によって 3 位決定戦までを行う。
- (2) 全試合 6 ゲームズプロセット（6－6 後タイブレイク） ★ノーレットを採用
- (3) 試合開始時刻は、次のとおりとする。

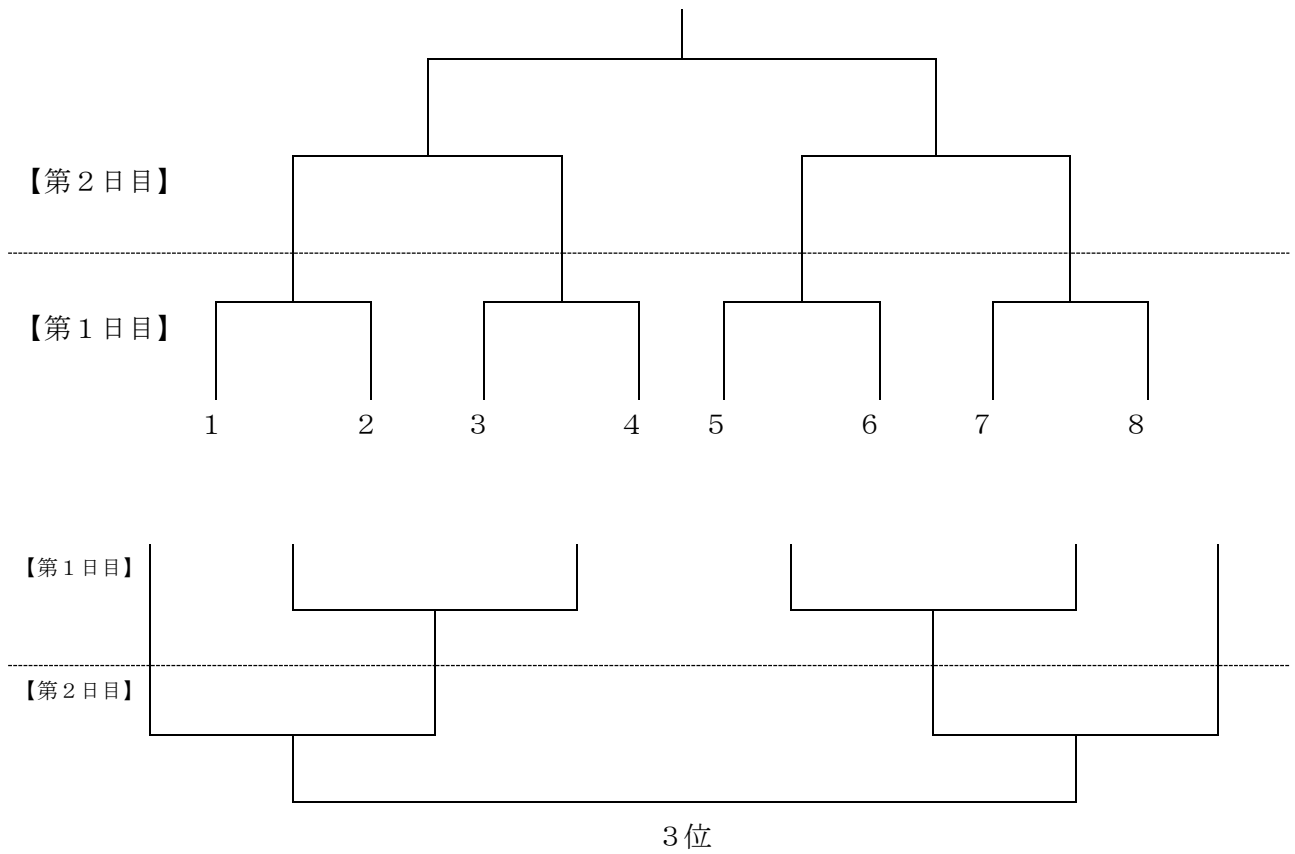
競技開始 2 日 13：00 ～ 3 日 10：00 ～

(4) 組合せ

〔男子〕



〔女子〕



宿 泊 要 項

- 1 宿泊料金 (1) Aプラン 1泊2食付 9,800円(税, サービス料込み)
 (2) Bプラン 1泊夕食付 9,000円(税, サービス料込み)
 (3) Cプラン 1泊朝食付 8,000円(税, サービス料込み)
 (4) Dプラン 1泊素泊まり 7,000円(税, サービス料込み)
- 2 宿泊条件 (1) 適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、必ず各県中学校体育連盟指定の取扱旅行業者を通して申し込むこと。
 (指定外の宿泊施設の利用は認めない。)
- (2) 宿泊は、競技別とする。
- (3) 畳数は、1名1.5畳以上とする。
- (4) 引率は、同宿とする。
- (5) キャンセル料は、以下のとおりとする。

取消日	取消料
宿泊日の前日から起算して4日目にあたる日迄の解除	無料
宿泊日の前日から起算して3日目にあたる日から2日目にあたる日迄の解除	旅行代金の 20%
宿泊日の前日の解除	旅行代金の 40%
宿泊日の当日12時迄の解除	旅行代金の 50%
宿泊日の当日12時以降15時迄の解除	旅行代金の 70%
宿泊日の当日15時以降の解除	旅行代金の 100%

- (6) 男女を同一フロアに部屋割りしないように配慮する。
- (7) 他県(他チーム)の選手・監督を相部屋に部屋割りしない。
- 3 弁 当 (1) 料金800円(お茶付き消費税込)
 (2) 宿泊申し込みと同様に、所定の方法で申し込んでください。
- 4 申 込 (1) 申し込み要領は、次のとおりとする。
- ① 7月28日(月)までに当該競技開催県の取扱旅行業者に宿泊・弁当申込書をFAXまたはメールで送信し、その後、宿泊費及び弁当代金を所定の口座に振り込むこと。申し込みを受けた当該競技開催県の取扱旅行業者は、FAXまたはメールで申し込み確認書を当該校に返送する。
- ② 宿泊・弁当等の領収証が必要な学校は、宿泊・弁当申込書において必ず事前に申し込むこと。
- (2) 申込期日 FAXまたはメールにて7月28日(月)までに必着

駐車場については、当該校が事前に取扱旅行業者あるいはホテル(旅館)にお問い合わせください。

※ なお、申込み順に関わりなく、申込期日を過ぎてからの配宿となることを、ご理解ください。

四国大会取扱旅行業者

業者名		株式会社JTB 高松支店			
〒	760-0029	住 所	香川県高松市丸亀町8-23 丸亀町グリーン東館3階		
		TEL	087-822-0033		
		FAX	087-821-2177		
		E-mail	k_masuda163@jtb.com		
担当者名		益田 滉大		連絡先 (夜間等)	070-4018-1666
銀行名	支店名	科目	口座番号	口座名義	
三菱UFJ銀行	千代田支店	普通	5464546	株式会社JTB	

業 者 名		株式会社日本旅行 徳島支店			
〒	770-0831	住 所	徳島市寺島本町西1-10		
		TEL	088-622-5547		
		FAX	088-622-6313		
		E-mail	tokushima_office@nta.co.jp		
担当者名		柿原 敦		連絡先 (夜間等)	080-3218-6305
銀行名		支店名	科目	口座番号	口座名義
※費用振込先について 出場チームへ宿泊決定通知書兼請求書を送付させていただきます。 請求書に記載の振込先にご入金お願いいたします。					

業者名		近畿日本ツーリスト株式会社 高知営業所			
〒	780-0834	住 所	高知県高知市堺町2-26 高知中央ビジネススクエア4F		
		TEL	088-824-4891		
		FAX	088-824-2861		
		E-mail	kochi@or.knt.co.jp		
担当者名		野村 砂夜・西森 千佳		連絡先 (夜間等)	080-7719-2834
銀行名	支店名	科目	口座番号	口座名義	
三菱UFJ	ききょう	普通	1786738	キンキニッポンツーリスト(カ	

業者名		東武トップツアーズ株式会社			
〒	790-0003	住 所	愛媛県松山市三番町4丁目11-6		
		TEL	050-9002-5466		
		FAX	089-947-3809		
		E-mail	63shikokutaiikai@tobutoptours.co.jp		
担当者名		越智 正和		連絡先 (夜間等)	080-2195-2004
銀行名	支店名	科目	口座番号	口座名義	
みずほ	東武	当座	7098995	東武トップツアーズ株式会社	

宿舎一覧

競技名	県名	宿 舎 名	住 所	電話番号
水 泳	香川県	ザ・セレクトン高松 (夕食弁当)	高松市城東町1丁目9-5	087-821-2222
		ホテルパールガーデン (夕食弁当)	高松市福岡町2丁目2-1	087-821-8500
坂出グランドホテル		坂出市西大浜北1丁目2-33	0877-44-1000	
オークラホテル丸亀		丸亀市富士見町3丁目3-50	0877-23-2222	
丸亀プラザホテル		丸亀市塩飽町50-3	0877-23-1391	
ホテルルートイン丸亀 (夕食弁当)		丸亀市田村町字2丁目512-1	0877-58-2011	
卓 球		丸亀プラザホテル	丸亀市塩飽町50-3	0877-23-1391
	東横イン丸亀駅前 (夕食弁当)	丸亀市浜町26-1	0877-58-1045	
	オークラホテル丸亀	丸亀市富士見町3丁目3-50	0877-23-2222	
	ホテルルートイン丸亀 (夕食弁当)	丸亀市田村町字2丁目512-1	0877-58-2011	
相 撲		四国高松温泉 ニューグランデみまつ	高松市通町2-3	087-823-4111

競技名	県名	宿 舎 名	住 所	電話番号
剣 道 テニス サッカー ソフトボール	徳島県	HOTEL AZ徳島板野店	徳島県板野町川端新手崎27-1	088-672-2611
		ホテルグランドパレス徳島	徳島市寺島本町西1丁目60-1	088-626-1111
		ホテルたいよう農園	徳島市昭和町1丁目15	088-655-5151
		徳島県庁前		
		阿波の国昴宿よしの	徳島市一番町3丁目18	088-654-2255
		徳島グランヴィリオホテル	徳島市万代町3丁目5-1	088-624-1111
		スマイルホテル徳島	徳島市元町1丁目24	088-626-0889
		ホテルサンシャイン徳島	徳島市南出来島町2-9	088-622-2333
		ホテルルートイン徳島空港-	板野郡松茂町中喜来宮前四番越	050-5211-5803
		松茂スマートインター-	13-1	

競技名	県名	宿 舎 名	住 所	電話番号
ハンドボール 軟式野球 バレーボール ソフトテニス 柔 道	高知県	高知プリンスホテル	高知市南宝永町4-2	088-883-2323
		ホテル高砂	高知市駅前町2-1	088-822-1288
		オリエントホテル高知	高知市北本町2-1-22	088-885-3311
		和風別館 吉萬		
		リバーサイドホテル松栄	高知市天神町8-1	088-832-3211
		松栄第二別館	高知市唐人町3-12	088-822-3231
		ホテルSP-haruno-	高知市春野町芳原2485	088-842-0011
		高知黒潮ホテル	香南市野市町東野1630	0887-56-5800
		高知共済会館COMMUNITY SQUARE (1泊朝食対応)	高知市本町5-3-20	088-823-3211
		ホテルNo.1高知 (素泊りのみ対応)	高知市廿代町16-8	088-873-3333
		高知パレスホテル (1泊朝食対応)	高知市廿代町1-18	088-825-0100
		ウェルカムホテ高知 (1泊朝食対応)	高知市追手筋1-8-25	088-823-3555
		天然温泉はるの湯	高知市春野町西分3546	088-894-5400

競技名	県名	宿 舎 名	住 所	電話番号
バトミントン	愛媛県	スカイホテル	松山市三番町 8－9－1	089-947-7776
		ホテル勝山 (夕食弁当対応)	松山市勝山町 1－1 1－1	089-947-0561
		ホテルカジワラ	松山市大手町 2－9－1 0	089-941-0402
新体操		ホテルNo.1 松山 (夕食弁当対応)	松山市千舟町 2－7－3	089-921-6666
		ビジネスホテル重信 (夕食弁当対応)	東温市志津川 1 6 0－3	089-964-4600
体操		ホテルアイスル松山	松山市宮田町 3 9 1－8	050-1725-3655
陸上競技		県庁前ホテルアビス松山 (夕食弁当対応)	松山市一番町 4－1－8	089-941-9003
		スマイルホテル松山 (夕食弁当対応)	松山市勝山町 1丁目 1 8－1	089-915-0011
		ホテルトップイン (朝食・夕食弁当対応)	松山市一番町 1丁目 5－1 5	089-933-3333
		ウエルピア伊予	伊予市下三谷 1 7 6 1－1	089-983-4500
		いよプリンスホテル	伊予市灘町 1 6－1	089-982-7777
		にぎたつ会館	松山市道後姫塚 1 1 8－2	089-941-3939
	長珍屋	松山市浄瑠璃町甲 1 1 9－1	089-963-0280	
	HOTEL AZ 松山西店	松山市祓川 2－1 2－1 8	089-953-3301	
	HOTEL AZ 愛媛伊予店	伊予氏稲荷字北田甲 7 1 0－1	089-982-1001	

競技別会場所在地一覧

競 技 名	会 場 名	A E D設置場所	所 在 地
陸 上 競 技	ニンジニアスタジアム	正面ロビー（南側）	松山市上上野町乙46
水 泳 競 技	香川県立総合水泳プール	正面玄関事務室	高松市御厩町1585-1
バスケットボール	丸亀市民体育館	1F事務所	丸亀市金倉町924番地1
サ ッ カ ー	徳島市球技場 鳴門・大塚スポーツパーク鳴門球技場 徳島スポーツビレッジ	事務所	徳島市入田町安都真220番地 鳴門市撫養町立岩字四枚61番地 板野郡板野町犬伏字瓢谷2-22
ハンドボール	春野総合運動公園体育館	体育館1Fロビー	高知市春野町芳原2485
軟 式 野 球	春野総合運動公園野球場 日本トーター高知市総合運動場日本トーター 野球場	野球場1F球場入口 野球場1F球場入口	高知市春野町芳原2485 高知市大原町158
体 操 競 技	愛媛県総合運動公園体育館	1F事務所横	松山市上上野町乙46
新 体 操	愛媛県総合運動公園体育館	1F事務所横	松山市上上野町乙46
バレーボール	高知県立県民体育館	主競技場玄関ホール	高知市棧橋通2-1-53
ソフトテニス	INOUE・東部スポーツ パークテニスコート	運営棟 東側壁	高知市五台山1736-1
卓 球	丸亀市民体育館	1F事務所	丸亀市金倉町924番地1
バドミントン	松山市総合コミュニティセンター体育館	事務室	松山市湊町7丁目5番地
ソフトボール	吉野川北岸グラウンド	本部テント	徳島市応神町東貞方字南川淵99の3
柔 道	高知県立武道館	正面玄関 3F試合場	高知市丸ノ内1-8-3
剣 道	鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール	正面入り口事務所	鳴門市撫養町立岩字四枚61番地
相 撲	香川県総合運動公園相撲場	クラブハウス1F 医務室	高松市生島町614番地
テ ニ ス	大神子病院しあわせの里 テニスセンター	管理棟事務所 運営棟内	〒772-8012 徳島市大原町大神子7-1

※ 変更理由は、提出に際して「理由の記入」が必要な競技のみ記入すること。

第 63 回 四国中学校総合体育大会宿泊・弁当申込書

県 名	県		競 技 名	
団 体 名			住 所	〒
団 体 連 絡 先	TEL		FAX	
宿 泊 責 任 者	氏 名		Mail	
	TEL		携帯TEL	

※ 宿泊料金 (1) Aプラン 1泊2食付 9,800円 (税、サービス料込み)
 (2) Bプラン 1泊夕食付 9,000円 (税、サービス料込み)
 (3) Cプラン 1泊朝食付 8,000円 (税、サービス料込み)
 (4) Dプラン 1泊素泊り 7,000円 (税、サービス料込み)

1 申込宿泊プラン： () プラン

※下表の申込期日と曜日も併せてご記入ください。

宿 泊 申 込	期日・曜日		日（ ）曜日の宿泊	日（ ）曜日の宿泊	計
	選 手	男 子	人	人	人
		女 子	人	人	人
		小 計	人	人	人
	引 率 監 督 コ ー チ	男 子	人	人	人
		女 子	人	人	人
		小 計	人	人	人
	専門部長	男 子	人	人	人
		女 子	人	人	人
	帯同審判	男 子	人	人	人
		女 子	人	人	人
合 計		人	人	① 人	

2 弁当申込

弁当 申込	期日・曜日	日 () 曜日の弁当	日 () 曜日の弁当	合 計
	弁当個数	個	個	② 個

3 納入金額 (宿泊料金：宿泊プランによる金額 弁当：800円)

〔① 人 × 円〕 + 〔② 個 × 800円〕 = 円

上記申し込みます。

【申込責任者】

(県名) 県 (団体名) (職名) (氏名)

4 宿泊等の領収証について

該当する箇所に○をご記入ください。

- [] I. 旅行代理店発行の領収証と宿泊所発行の宿泊証明書が必要です。
 [] II. 旅行代理店発行の領収証が必要です。
 [] III. 宿泊申し込み確認書で結構です。

領収証内容：①宿泊と弁当 () ②宿泊のみ () ③弁当のみ ()

<備 考> (アレルギー対応等必要に応じて記入して下さい)

5 留意事項

- (1) 申し込みをした団体は必ず宿泊をしてください。やむを得ず不泊の場合は、宿泊要項にあるキャンセル料で対処いたします。
- (2) 申し込み：7月28日(月)までに、参加の各団体は申込書を、宿泊要項にある当該競技開催県の取扱旅行業者に FAX またはメールで送信してください。宿泊費及び弁当代金の振込については、所定の口座に振り込んでください。なお、振込手数料は申込者にてご負担ください。
- (3) 宿泊領収証等が必要な場合には、この用紙にて申し込んでください。
- (4) 団体所定の宿泊証明書が必要な場合には、宿泊当日ご持参ください。

備考 到着予定時刻

利用交通機関

貸切バス (大型 : 中型)

J R

自家用車

台

他